

美術年報

2004



徳島県美術家協会

目 次

| | | | |
|--------------------------------|------------------------|--------------|-----|
| はじめに | 徳島県美術家協会長 佐野 比呂志 | 1 | |
| 徳島県美術家協会規約 | | 3 | |
| 平成14年度事業報告 | | 4 | |
| 役員名簿(平成15・16年度) | | 7 | |
| 徳島県美術展開催運営要項 | | 13 | |
| 第58回県展記録 | | 17 | |
| 第58回県美術展出品・入選等状況 | | 25 | |
| 徳島県美術展審査員一覧 | | 26 | |
| 第12回放美展記録 | | 30 | |
| 各部記録 (平成15年度) | | | |
| ・日本画部 | 部会長 西野 和男 | 36 | |
| ・洋画部 | 部会長 榊田 務 | 39 | |
| ・写真部 | 部会長 櫛渕 魏 | 49 | |
| ・彫刻部 | 部会長 松永 勉 | 55 | |
| ・美術工芸部 | 部会長 山上 馨 | 58 | |
| ・書道部 | 部会長 上田 溪水 | 63 | |
| ・デザイン部 | 部会長 坂本三千一 | 68 | |
| 会員名簿 | | | |
| ・日本画部 | 75 | ・美術工芸部 | 84 |
| ・洋画部 | 76 | ・書道部 | 86 |
| ・写真部 | 80 | ・デザイン部 | 97 |
| ・彫刻部 | 84 | | |
| 第58回徳島県美術展(県展)公募規定 | | | 99 |
| 第58回県美術展特別・招待・無鑑査・賛助出品者名 | | | 100 |

あとがき

はじめに

第12回放美展が春の公募展として、5月1日（木）から5日（月・祝）までの5日間、県郷土文化会館で開催された。放美賞7点、優秀賞46点、入選511点の計564点と、審査員、運営委員、美協役員、無鑑査の作品等56点を加え、総数620点が展示された。応募人数も昨年に次ぐ733名となり、県美術界にとっても大変よろこばしいことであり、将来更に飛躍することを願って止まない。

第58回県美術展は、第1期が11月8日（土）から16日（日）まで、日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、デザインの6部門、第2期が11月18日（火）から25日（火）まで、書道部門で、県郷土文化会館で開催された。作品の応募数は例年なみの2,438点、審査の結果、入賞入選804点が選出された。県展も58回を重ねその内容も年々充実、高校生、大学生の若い層と共々、ベテランも気をはいたと思う。各部門の審査員からも、総体的に質が高く、それぞれ力作が多く選ぶのに苦勞したと称賛された。作家の方も充分自信をもって、メンタルなものが最も大切だという審査員の言葉を理解して、個性的で創造性豊かな作品をめざして精進されたい。なお、出品者の方々が多くの中央展以上に厳選である県展に臆することなく、挑戦しつづける情熱と真摯な努力には心から敬意と深い感謝を表したい。

各部門の活動や関係団体、協会員の精進も例年に勝り活発であった。特に新しい動きとして「徳島アート21」が結成された。中央展に目を向けるのではなく、「徳島から新しい風を」という思考で、長尾弘久さんら14人のグループである第1回展が6月に開催された。さらに、「徳島版画会」が発足し徳島在住の版画家ら38名が11月に第1回徳島版画展を開催し、57点が出品され、それぞれ大きな反響を呼んだ。

個人では、3月に長尾弘久版画展がギャラリーグレイスで開催された。日本画の秋元よし子さんが3月から4月にかけて、法泉寺襖絵展を公開した。襖絵は20枚5年がかりの労作で、蓮華、花菖蒲、里、やまももの4種類で構成され、秋元さんの集大成とも言える作品である。洋画部の宇高桂子さんが、阿波銀プラザで個展を開催し力作を発表した。大谷窯の矢野款一さんの還暦記念展が郷土文化会館で開催された。幼くして亡くなった長女の供養に制作した阿羅漢像をはじめ、大谷焼伝統の大物花器や日本伝統工芸展入選作品など65点が展示され、40年の作陶の技の凝縮された個展であった。5月には写真部の上野照文作品展がシビックセンターで開催され、愛好者の多くを集めた。後藤田仁一ガラス絵展も開催された。6月には大谷焼「元山窯」田村祐子・栄一郎・佳代・純子の一家4人展がギャラリーM&Mで開催された。後藤田展、田村展とも楽しい展覧会であった。7月には県内写真界の発展に大きく尽力された故福島正仁さんの7回忌記念展が阿波銀プラザで開催され、117点の作品が展覧された。

四国霊場を舞台に古佛や花を撮った作品や、枯れたハスを題材にした抽象写真、最後の作品となった彼岸花など、鮮やかなカラー作品、代表作といわれるモノクロ作品、吉野川慕情も出品され、観る人の心情に深く感銘をあたえた。10月に関政明さんの油絵展“道の向こうに光が見える”が海南町文化館で開催され、多くの愛好家を集めた。ひのみね養護園で優秀な絵画や文芸作品を発表しつづけている関さんの活躍には頭がさがるばかりである。11月にはいって、美術工芸の西浩子花の織展が阿波銀プラザではなやかに開催された。染織による織りのおもしろさ、色の美しさなどさまざまな変化が見られて、絵画と違った味わいの深さが楽しめた。近代美術館ギャラリーでは鎌田邦宏彫刻展が見られた。鎌田さんは、一昨年二紀会会員に推挙され、過去20年余りの代表作に新作を加え、彫刻23点とデッサン5点が展示された。人体のひねりをテーマに制作した裸婦像が中心であった。裸婦像で精進を続けてこられた成果を感じることができ、観る者の心に深く感動を与えた。12月に中川伸一彫刻展が近代美術館ギャラリーで開催された。中川さんは徳島彫刻集団会員で、集団が定期的に行っている会員の個展第5弾、個展は3度目、展示作品は8点「石器時代・時空を越えた割り石の美学」がテーマで、表面を剥ぎ取っただけのシンプルなフォルムの各作品は観る者の眼と心にどんな感動をあたえるだろうか。おもしろいものがある。

県外の公募展受賞関係では、洋画で木谷弘さんが美術文化展で奨励賞を受け、彫刻の長岡強さんは日展で二度目の特選を受けた。工芸では森賢一さんが日本現代工芸美術展で本会員賞を受賞された。

昨年に続いて、今年も追悼のことばを記すことになった。県美術家協会理事で県展招待出品者でもあった立岩巖さんが、1月7日に77才で亡くなられた。佛像を描く作家として活躍し全日本美術協会（全展）で内閣総理大臣賞他数々の賞を受け、中央展でも優秀作を発表し、人間的にも温厚誠実で魅力ある人柄であった。亡くなられて一年後64ページからなる立派な画集「立岩巖作品集」が刊行された。5月11日に彫刻家で徳島二紀会事務局長を務めていた蒔田壽さんが急死された。今後の活躍が期待されていただけに惜しまれてならない。6月9日には県内の仮名書道普及に尽力された書家の讃岐泰泉さんが76才で死去された。讃岐さんは県美術家協会副会長で書道結社・泉心書会を主宰、後進の育成に取り組み、硬筆書道研究会を設立し硬筆ペン習字の普及に尽力された。県美術界にとって大きな存在が次々と消えることは、誠に淋しく残念なことである。心からご冥福をお祈り申し上げたい。

最後になりましたが、四国放送（放美展）、徳島新聞社（県美術展）並びに美術家協会の皆様方に心から感謝するとともに、ますますご発展をお祈りしてはじめの言葉といたします。

平成 16 年 3 月

徳島県美術家協会会長

佐 野 比呂志

徳島県美術家協会規約

| | | | |
|-------|----|----|--------|
| 昭和23. | 9. | 12 | 規約制定 |
| 32. | 7. | 14 | 新規約制定 |
| 33. | 4. | 29 | 規約一部改正 |
| 42. | 4. | 23 | 〃 |
| 46. | 4. | 29 | 〃 |
| 47. | 5. | 29 | 〃 |
| 49. | 8. | 22 | 〃 |
| 52. | 7. | 23 | 〃 |
| 56. | 5. | 5 | 〃 |
| 58. | 6. | 5 | 〃 |
| 61. | 6. | 21 | 〃 |
| 平成4. | 6. | 27 | 〃 |
| 6. | 6. | 25 | 〃 |
| 10. | 6. | 27 | 〃 |

第1章 総 則

第1条 本会は徳島県美術家協会と称し、事務所を徳島市内におく。

第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。

第3条 本会は徳島県に関係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。

- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン

第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。

- (イ) 展覧会 (ロ) 講習会 (ハ) 講演会
(ニ) 観光美術の振興 (ホ) その他必要な事業

第2章 役員および会員

第5条 本会に次の役員をおく。

- 会 長 副会長(2名)
理 事(若干名) 監 事(2名)

会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員任期は2年として留任をさまたげない。

第6条 本会は顧問、参与および名誉会員を理事会の推せんによりおくことができる。

第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。監事はこの会の経理を監査する。

第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。

総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあつては3名、

31名以上の部にあつては、さらに10名毎に1名選出できる。

第9条 理事会は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を執行する。

第3章 部 会

第10条 各部に次の役員をおく。

- 部部长・委員(部会員数の3割以内)
部監事(2名)

役員は部総会で選出する。役員任期は2年とし留任をさまたげない。

第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員選出その他重要事項の審議を行う。

ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。

第12条 委員会は必要に応じ部部长が招集し部会務を執行する。

第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。

第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,750円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

第4章 経 費

第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。

第16条 会費は年額3,500円とし、入会金は1,000円とする。

第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(参 考)

☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。

☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館(徳島公園内の県立図書館)内へ移す。

☆昭和25年12月18日 協会パッチを選定(図案は鬼塚副会長)

☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事(3名~5名)によることとする。

☆昭和46年4月29日 6部(日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道)のうえに商業美術(58年度からデザインに改称)が加わり7部組織となる。

平成14年度 事業報告

- (1) 総 会
 - 平成14年 6 月15日
 - 県郷土文化会館 5 F 第7会議室
 - 平成14年度事業報告及び決算報告
 - 監査報告・承認
 - 平成15年度事業計画及び予算審議
 - その他
- (2) 理 事 会
 - 平成15年 3 月29日 放美展、県展等について
- (3) 第11回放美展
 - 平成14年 5 月 2 日（木）～5 月 6 日（月・祝）
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道・デザインの
635点展示
 - 受賞者表彰式
平成14年 5 月 6 日（月・祝）県郷土文化会館
- (4) 第57回県美術展
 - 第 1 期 平成14年11月 9 日（土）～17日（日）
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・デザインの521点
展示
 - 第 2 期 平成14年11月19日（火）～24日（日）
書道の402点展示
 - 第57回展受賞者表彰式 平成14年11月 8 日（金）阿波観光ホテル
- (5) 県展・放美展会議
 - 第57回県展運営委員会・県展事務局員会議
(14. 6. 12、14. 9. 25、15. 2. 20)
 - 第11回放美展運営委員会 (14. 4. 26)
 - 第12回放美展運営委員会 (14. 12. 2)
- (6) 各部会行事
 - 洋 画 部
第17回洋画部会員展 (14. 5. 23～26) 県郷土文化会館
第 4 回絵画講習会 (14. 9. 8) 鴨島町文化研修センター
 - 写 真 部
京都大原の里写真撮影会 (14. 6. 23)

○デザイン部

部会展「コトバとデザイン」(15. 2. 20~24)

県立近代美術館

- (7) 各種後援
- 第9回 大叢会書作展 (14. 4. 19~21)
 - 第3回 ニッコールクラブ徳島支部写真展 (14. 4. 20~22)
 - 第11回 荒井天鶴書展 (14. 4. 25~28)
 - 長井公雄遺作展 (14. 5. 15~19)
 - 藍の詩~三好初子洋画展 (14. 5. 15~19)
 - 第16回 四国大学文学部書道文化学科教員展 (14. 5. 17~19)
 - 第25回「炎」作品展 (14. 5. 18~20)
 - 第47回 成蹊書道会展 (14. 5. 24~26)
 - 第25回 八紅展 (14. 6. 13~16)
 - 第20回 双愛会書作展 (14. 6. 14~16)
 - 第14回 '療' 4人展 (14. 6. 27~7. 1)
 - 第23回 東光会徳島支部展 (14. 6. 28~30)
 - 第21回 徳島平和美術展 (14. 7. 5~8)
 - 第17回 正鋒会書展 (14. 7. 27~29)
 - 第61回 世代美術展 (14. 8. 8~11)
 - 第7回 尚真書展(愛) (14. 8. 16~18)
 - 第26回 15人展 (14. 8. 20~22)
 - 第1回 芳月会書展 (14. 8. 27~29)
 - 第37回 書道研究 清潮書作展 (14. 8. 30~9. 1)
 - 岩崎英昭写真展「美しい徳島」 (14. 8. 31~9. 8)
 - 第32回 直心会書道展 (14. 9. 5~8)
 - 第25回 泉心会書作展 (14. 9. 13~15)
 - 第42回 写楽会写真展 (14. 9. 13~16)
 - 第47回 書協人展 (14. 9. 13~15)
 - 第31回 徳島雪心会書作展 (14. 9. 14~16)
 - 第58回 青美展 (14. 9. 20~23)
 - 第8回 徳島障害者芸術祭 エナジー2002 (14. 10. 1~6)
 - 第14回 睦月会書展 (14. 10. 5~7)
 - 沢口功デザイン展 (14. 10. 7~30)

-
- 第6回 旺美展：旺玄会東四国支部展 (14. 10. 10～16)
 - 鋭光会写真展 (14. 10. 12～14)
 - 第65回記念 書芸院現代書展 (14. 10. 19～22)
 - 第34回 石井美術の会作品展 (14. 10. 23～26)
 - 第7回 三美展 (14. 10. 28～11. 3)
 - 第17回 藍美展 (14. 11. 1～4)
 - 第13回 辰砂の会展 (14. 11. 2～4)
 - 第8回 六書展 (14. 12. 13～15)
 - 第32回 四国大学書道コース学外展 (14. 12. 13～15)
 - 第31回 歳末チャリティ作品・色紙即売展 (14. 12. 14～16)
 - 第8回 退教協 悠美展 (15. 1. 28～30)
 - 第34回 ナルトびんぼけクラブ写真展 (15. 2. 14～16)
 - 第6回 美術文化協会徳島グループ展 (15. 2. 14～18)
 - 第23回 書研社展 (15. 2. 22～24)
 - 梧竹の会50年記念大会 (15. 2. 22)
 - 四国大学文学部書道コース第28期生卒業制作展 (15. 3. 5～9)
 - 第2回 輪の会作品展 (15. 3. 6～9)
 - 第29回 桂鳴書展 (15. 3. 8～10)
 - 第5回 徳島現代墨絵展 (15. 3. 14～16)
 - 桂和会書展 (15. 3. 14～16)

徳島県美術展開催運営要項

第1条 (名称・開催目的)

本展は徳島県美術展「以下(県展)という」と称し、広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより本県の芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

第2条 (主催団体)

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

第3条 (開催運営の組織)

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」とを設置する。

運営委員、事務局員の任期は2年とする。但し再任は妨げない。

〔県展運営委員会〕

運営委員会のメンバーは、県美術家協会の会長・副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から3名の合計21名でこれを構成する。

運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

- 1 開催運営の基本事項について審議決定すること。
- 2 審査員候補を推薦決定に関すること。
- 3 審査方法、表彰に関すること。
- 4 収支予算、決算の承認に関すること。
- 5 その他県展開催に必要なこと。

〔県展事務局〕

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会各部から2名、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社2名の計17名でこれを構成する。

事務局員の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

- 1 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
- 2 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
- 3 審査員の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇等の準備、手配に関すること。
- 4 収支予算案の作成に関すること。
- 5 開会式、表彰式の準備に関すること。

- 6 広報PRに関すること。
- 7 その他県展開催の下準備に関すること。

第4条 (出品部門)

県展の出品部門は日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

第5条 (展示作品)

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

- 1 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。

その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

- 2 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

- (1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

- (1) 特選を連続3回得たもの。
- (2) 年間を問わず特選を4回得たもの。
- (3) 年間を問わず特選又は準特選を6回得たもの。(特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする)
- (4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

◇次のものを特別出品とする。

- (1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、名誉会員、参与、審査員及び各部の会長、顧問、参与。

(注) ① 招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

② 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

③ 40回展までの準特選は2回をもって特選と同値とする。

第6条 (審査員)

審査員は県外審査員とする。

審査員の選任は県美術家協会の各部会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い県展運営委員会の議を経て決定する。

第7条 (審査)

審査は公開により行う。

第8条 (入選、入賞数)

- 1 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する場合があるが、原則として次の範囲内に止める。

| 部門 | 区分 | 特選 | 特別賞 (58回展の場合) | 準特選 | 奨励賞 | 入選 |
|------|----|----|---------------|-----|-----|-----|
| 日本画 | | 2 | 徳島新聞社長賞 | 3 | 3以内 | 規定数 |
| 洋画 | | 3 | 四国放送社長賞 | 5 | 5〃 | 〃 |
| 写真 | | 4 | 徳島県美術家協会会長賞 | 8 | 8〃 | 〃 |
| 彫刻 | | 1 | 徳島県知事賞 | 2 | 2〃 | 〃 |
| 美術工芸 | | 2 | 徳島県議会議長賞 | 3 | 3〃 | 〃 |
| 書道 | | 8 | 徳島県教育長賞 | 13 | 13〃 | 〃 |
| デザイン | | 2 | 徳島市長賞 | 3 | 3〃 | 〃 |

※特別賞は各部とも特選の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。
賞はいずれも同格で毎年部門により1つずつ順位を変更し賞を贈ります。

2 入賞は1人1賞とする。

第9条 (表彰)

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

- 1 特選……賞状、賞金7万円
- 2 準特選……賞状、賞金3万円
- 3 奨励賞……賞状、記念品
- 4 入選……全員に賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

- 1 徳島県知事賞 1名
- 2 徳島県議会議長賞 1名
- 3 徳島県教育長賞 1名
- 4 徳島市長賞 1名
- 5 徳島新聞社長賞 1名
- 6 四国放送社長賞 1名
- 7 徳島県美術家協会会長賞 1名

※特別賞の選考方法については別にこれを定める。

第10条 (収支予算)

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

- 1 出品料
- 2 入場料
- 3 図録売り上げ及び広告料
- 4 各種補助金
- 5 その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い必ず証票をとり、毎年12月末に決算を行い、2月に開催する運営委員会に報告し承認を得るものとする。

第11条 (出品料・協賛費)

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

- 1 県美術家協会員の出品料は1点目3,000円、2点目から1点につき1,500円とする。
- 2 一般の方の出品料は、1点目4,000円、2点目から1点につき1,500円とする。
- 3 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は、1点3,000円とする。

第12条 (入場料)

県展の入場料は次の通りとする。

- | | | | | | |
|---|-------|-----|------|----|------|
| 1 | 一般大学生 | 前売り | 500円 | 当日 | 600円 |
| 2 | 高校生 | 前売り | 250円 | 当日 | 300円 |

第13条 (附 則)

本要項の規定は昭和61年9月から実施する。

本要項の改訂、修正は県展運営委員の3分の2以上の議決を経てこれを行うものとする。

- | | |
|------------|------|
| 平成4年2月22日 | 一部改正 |
| 平成4年5月16日 | 一部改正 |
| 平成8年5月25日 | 一部改正 |
| 平成11年5月14日 | 一部改正 |
| 平成12年5月30日 | 一部改正 |
| 平成13年5月30日 | 一部改正 |
| 平成14年9月25日 | 一部改正 |

第58回県展記録

会期 (第1期) 平成15年11月8日(土)~16日(日)

(第2期) 平成15年11月18日(月)~25日(火)

会場 県郷土文化会館

日本画

- [審査員] 大矢 紀
[特別出品] 長尾 弘子
[招待] 橋本 正弘 中川 健 岡 英彦 土方るみ子 西野 和男
土井 洋子
[賛助出品] 長谷 壽
[無鑑査] 中西 芳雄 反田 卓
[特選] 平野 真里 (徳島新聞社長賞)
柳田 一子
[準特選] 平野ひろみ 森崎 雅子 黒田 實
[奨励賞] 石原 千鶴 国尾由美子 坂 容子
[入選] 三谷 浩三 大久保芳和 米沢 稔 梶浦 千瑞 西森万里子
玉田 紘子 阿部沙奈恵 有井 由佳 榎本 初子 島山 耀子
南 清子 西村美也子 福田佳代子 富田 達子 吉田 満子
有持 廣子 三木 義博 江上 豊 江本美千代 吉坂美智子
坂本 久江 新居延文子 天羽 弘毅 斎藤 久男 橋本 隆雄
三ツ本繁美 米沢 房一 細木 玲子 井村ひろみ 藤井 吉信
村崎 恵美 白河 邦子 宮越 千佳 吉岡 育美

洋画

- [審査員] 福島 瑞穂
[特別出品] 佐野比呂志 永山 隆二 榊田 務
[招待] 清水 巫煥 楠瀬 等 露口 敏幸 岡本 征二 長尾 弘久
[賛助出品] 岡 多美子 柏木 雅雄 河田 安市 黒崎 志郎 後藤田仁一
松川 寛 岡田 守 中辻奈美枝
[特選] 大西 道夫 (四国放送社長賞)
新居 千尋 尾田 稔子
[準特選] 山橋大二郎 宇高 桂子 西川 周三 宮田 京子 中林 豪
[奨励賞] 平田スミコ 後藤ユリ子 川中比沙子 西川 照美 佐々木洋輔
[入選] 島上 二郎 鈴木 明雄 川上 晴美 前野 亮治 阿部沙由里

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 山瀬 稔 | 西條 明彦 | 筒井 弘大 | 伊勢 浩章 | 福良 哲子 |
| 佐々木 恵 | 川田 績 | 玉田 秀子 | 田中シゲミ | 富田 君子 |
| 瀧川 勝雄 | 浅山 久子 | 宮森 千鶴 | 西川 敬子 | 立花 悟 |
| 西 富美 | 佐藤 敬子 | 小川 雅代 | 林 康太郎 | 田渕 浜子 |
| 片山美代子 | 三谷ミヤ子 | 藤長 輝雄 | 西崎 志帆 | 森岡 礼子 |
| 端野 育代 | 堀井 源三 | 喜多 直彦 | 木下 和江 | 正木 房子 |
| 天野 和子 | 加賀谷愛美 | 三谷多美子 | 住友 政雄 | 青木 幸子 |
| 川原 禮子 | 村本恵美子 | 小倉えい子 | 北 美智子 | 藤崎 恭子 |
| 島田 英子 | 加川由紀子 | 藤川佐由美 | 谷口 園 | 松尾 実 |
| 土橋 正子 | 麻植 尊正 | 三木 洋子 | 竹内 梢 | 林 敏雄 |
| 田中 康子 | 結城 栄子 | 浅井 香織 | 真鍋 弘子 | 大崎 聡美 |
| 後藤美代子 | 河本多恵子 | 唐渡 覚 | 平松 智子 | 佐々木 超 |
| 原田 早 | 小川しのぶ | 岩佐美和子 | 井上 淳一 | 夏伐 智子 |
| 林 伸也 | 天野 功治 | 助岡 美穂 | 西條 真季 | 富澤 京子 |
| 中本真由美 | 岸本 花子 | 三好 初子 | 東 紀美子 | 若山 一恵 |
| 大塚 裕子 | 堀内 理香 | 山田ゆかり | 川添瑠美子 | 佐々木輝実 |
| 越久 高照 | 二條 均 | 梅村 更紗 | | |

写 真

| | | | | | |
|-------|------------------|-------|-------|-------|-------|
| 〔審査員〕 | 江成 常夫 | | | | |
| 〔招待〕 | 増田 清次 | 井上 光雄 | 木田 英之 | 西條 征二 | 勝西 雅夫 |
| | 藤井 梵 | 武内 亨 | 笹田 敏雄 | 櫛渕 魏 | 酒井 博司 |
| | 三好 和義 | 上野 照文 | 森 賢一 | 橋本 圭祐 | 安長 剛 |
| | 前浦 芳久 | 荒井 賢治 | 林 敏彦 | 多田 晴美 | 古井 謙吉 |
| | 中野 建吉 | 井藤 光章 | 増田 壽 | 柳本 正 | |
| 〔無鑑査〕 | 船越 正文 | | | | |
| 〔特選〕 | 井上 翔 (県美術家協会会長賞) | | | | |
| | 久保 英樹 | 佐藤 考利 | 堀口 幸男 | | |
| 〔準特選〕 | 櫛渕 紳哉 | 鴻野 孝 | 大和 健司 | 岩崎 英昭 | 武林 恭史 |
| | 矢部 弘子 | 松田みゆき | 佐治 孝 | | |
| 〔奨励賞〕 | 中垣 節 | 大津 勝治 | 赤木 昭子 | 西野 倫子 | 橋本 和夫 |
| | 故島 永幸 | 原井 裕夫 | 浜田茄代子 | | |
| 〔入選〕 | 南山 葉子 | 山下 助信 | 吉岡 伸夫 | 浜田佳津子 | 横山 勤一 |
| | 山橋 良治 | 佐野 辰夫 | 松田 昇 | 獅子堂 務 | 志摩 育美 |
| | 吉本 亮子 | 四宮 正恵 | 大岸 昭 | 多田 進 | 谷 賢太郎 |

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 板東よしお | 日出 顕作 | 根ヶ山 治 | 勝瀬 彪 | 清水 宗保 |
| 三木 恭子 | 坂野 正明 | 佐倉 幹雄 | 多田 康文 | 岡久 吉徳 |
| 島 廣幸 | 播 博文 | 国見 良幸 | 梅本 貞範 | 宮本 幸治 |
| 佐々木敏幸 | 前坂 祥文 | 岡村 吉啓 | 小山 秀晃 | 岡田 佳子 |
| 林 広司 | 後藤 正巳 | 浅川 理 | 増谷 好子 | 柳川 信子 |
| 橋本 勝 | 辻 義徳 | 渡邊 信二 | 三木 啓治 | 中尾 一元 |
| 漆原はつ子 | 小林 保子 | 山口 喜市 | 宮前 稔 | 石川 徹雄 |
| 新居 奏 | 棚橋 仁志 | 木村美紗子 | 下山 久男 | 山本 雅敏 |
| 森内 昭男 | 山中 利治 | 四宮 清文 | 森崎 敦子 | 田中 利彦 |
| 埴淵 照二 | 正見 晃章 | 大栗 隆夫 | 山田 卓 | 梅久 匠 |
| 村岡 洋一 | 福原 和代 | 多川 静守 | 福井 茂 | 岸田 義市 |
| 安友 啓二 | 下川 正伸 | 向 儀一郎 | 板東 律雄 | 土橋 成行 |
| 平野 史子 | 稲井 芳男 | 宮本 利光 | 岸上 俊博 | 矢野 志江 |
| 粟田ふさえ | 吉本 保夫 | 大森 孝克 | 沢 和昭 | 伊東 勉 |
| 佐野 和史 | 吉田 仁志 | 近藤加栄子 | 横手 章子 | 小川 勝 |
| 元木 強 | 橋本 博美 | 三村 和生 | 米沢美千代 | 井上 秀人 |
| 神野 太三 | 新開 修 | 上杉 大一 | 溝淵 寛治 | 河田 清 |
| 富加見美枝 | 田中喜久夫 | 岸田 知久 | 山田 勝二 | 福原 敏雄 |
| 柳谷 雅夫 | 坂田 能啓 | 小原 治 | 木下 昇 | 森住 啓 |
| 秋野 昌子 | 一宮 由子 | 藤田 卓嗣 | 阿部 房恵 | 坂東 進 |
| 坂東 裕子 | 大西 啓子 | 田中 伸廣 | 宮崎 行弘 | 坂東 泰雄 |
| 飯田 忠志 | 近藤 恵子 | 橘 信二郎 | 貞光 邦彦 | 葉田 稔 |
| 斎藤 剛 | 阿部 一雄 | 伊達 照子 | 野口 佳一 | 井上 憲治 |
| 板東 敏晴 | 中川 定典 | 今出 弘 | | |

彫 刻

| | | | | | |
|--------|--------------|-------|-------|-------|-------|
| 〔審査員〕 | 菅原 二郎 | | | | |
| 〔特別出品〕 | 河崎 良行 | | | | |
| 〔招待〕 | 佐藤 隆 | 井下 俊作 | 鎌田 邦宏 | 松永 勉 | |
| 〔賛助出品〕 | 長岡 強 | | | | |
| 〔特選〕 | 加藤美津子 (県知事賞) | | | | |
| 〔準特選〕 | 木村 大志 | 安藝 淳二 | | | |
| 〔奨励賞〕 | 上月 佳代 | 佐久間大介 | | | |
| 〔入選〕 | 東 光司 | 尾崎 亜衣 | 居上 真人 | 二宮 治夫 | 山本 秀子 |
| | 武田亜希子 | 井上 喜美 | 川下 知子 | | |

美術工芸

| | | | | | |
|--------|-------|----------|-------|--------|-------|
| 〔審査員〕 | 島田 文雄 | | | | |
| 〔特別出品〕 | 山上 馨 | | | | |
| 〔招待〕 | 新居 猛 | 高橋 勇 | 七条猪三郎 | 多智花佐代子 | 松下 雄介 |
| | 松下 慶一 | 森 賢一 | 橘 恵 | 犬伏 絢 | |
| 〔賛助出品〕 | 村上 正典 | 中川 存 | | | |
| 〔無鑑査〕 | 吉田 敏明 | | | | |
| 〔特選〕 | 田村栄一郎 | (県議会議長賞) | | | |
| | 斎藤 和彦 | | | | |
| 〔準特選〕 | 綾野 昌子 | 藤井 哲信 | 森 明治 | | |
| 〔奨励賞〕 | 国井 秋子 | 村川 栄一 | 永山昭一郎 | | |
| 〔入選〕 | 越 由子 | みついみつ | 野村 裕子 | 大貝 貞雄 | 井上 明子 |
| | 大貝 寿子 | 藤井 雅代 | 吉田 晃子 | 森 克江 | 阿部まきみ |
| | 寺島喜代子 | 前野 亮治 | 佐治 孝 | 武田 美子 | 阿部 徳子 |
| | 宮本 孝 | 家形笑美子 | 天羽千津代 | 下川 好美 | 田口健一郎 |
| | 垣内耕太郎 | 北村久美子 | 加藤 和美 | 鶴山 早苗 | 椎野 隆子 |
| | 富永 裕子 | 近藤 川津 | 吉本 千帆 | 山下壽美代 | 富田ちえ子 |
| | 中村ようこ | 太田 進 | 岡田 邦子 | 梶原 浩二 | 清原 真弓 |
| | 藤本 友香 | 石本 達 | 近藤 静恵 | 源 満 | 山本 由実 |
| | 吉田 真弓 | 長尾 重美 | 加藤 伴江 | 山下 久美 | 寒川 治雄 |
| | 江角 久子 | 平尾 静子 | 宮本 侑 | 隅田 良佑 | 四十宮年代 |
| | 丸居 哲雄 | 谷口 治 | 川真田泰裕 | 小笠原瑞穂 | 吉川 茂 |
| | 一宮多枝子 | 田村 祐子 | 成瀬八千子 | 手塚 健一 | 麦倉 紀子 |
| | 田村 恵子 | 檜原 道雄 | 桜井 慎治 | 仁田 和子 | 龍木 秀子 |
| | 西山多恵子 | 田中みどり | 清水由利子 | 鳥井 明子 | 平田志保子 |
| | 阿部真由美 | 楠 博子 | 岡崎 益子 | 大西 恵子 | 吉田 陽子 |
| | 檜原フサコ | 青木 房江 | 田村 佳代 | 松本 孝子 | 川真田 弘 |
| | 横井嘉世恵 | 阿部 俊江 | 三橋 玄児 | 天野 和子 | 中川 英子 |
| | 柿田コイト | 山崎 敏子 | 田村 純子 | 美浪 文 | 北岡 啓子 |
| | 太田 裕子 | 宮本 真弓 | 四宮 千代 | 宮本 薫 | 吉田 祐子 |
| | 小栗加代子 | 豊田 昭子 | | | |

書 道

〔審査員〕 吉川 蕉仙 清水 透石 作田 英嗣

| | | | | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--|--|--|--|
| 〔特別出品〕 | 荒井 天鶴 | 新居 藍州 | 上田 溪水 | | | | | | |
| 〔招待〕 | 宮井 青雨 | 長原 皋聖 | 高原 清泉 | 西 南龍 | 成尾 莊秀 | | | | |
| | 原田 霄月 | 芝原 醒鶴 | 前川 古舟 | 清水 桂月 | 美馬幾美賀 | | | | |
| | 春藤 大耿 | 中谷 史子 | 長谷 美峰 | 勝瀬 景流 | 川上 虹泉 | | | | |
| | 三間 好鶯 | 近藤 静苑 | 日下 溪翠 | 岡島 順子 | 荒井 彭仙 | | | | |
| | 竹田 和代 | 山口 華城 | 藤若 美風 | 武市 鳴雲 | 中尾 勝子 | | | | |
| | 佐藤 真 | 富久 鳴泉 | 永松 春苑 | 島田 小園 | 坂本 霄風 | | | | |
| | 浜 佳香 | 隅田 英二 | 松本 清香 | 多田 清芳 | 玉城 乾香 | | | | |
| | 薄田 玲泉 | 能仁 華瑤 | 高岡 晃祥 | 高田 青蓮 | 三浦富美代 | | | | |
| | 宇山 泰鳳 | | | | | | | | |

〔贊助出品〕 東 南光

〔特選〕 河野紀代子 (県教育長賞)

| | | | | |
|-------|-------|------|-------|-------|
| 馬居美智恵 | 沖田 章代 | 辻 尚子 | 詫間 勝子 | 向井 京子 |
| 富永美知子 | 岡崎 啓子 | | | |

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 〔準特選〕 | 黒橋由加里 | 谷 弘美 | 後藤 佳美 | 河野久美子 | 林 みゆき |
| | 松浦真知子 | 東 弥生 | 森 裕美子 | 島山 政子 | 山崎ひとみ |
| | 大西千鶴子 | 長原 七与 | 佐藤由紀代 | | |

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 〔奨励賞〕 | 山地 靖子 | 野口 有香 | 伊勢 浩美 | 谷本 洋子 | 田淵 勲 |
| | 久住 律子 | 宮守 とみ | 椎野 国子 | 阿部 博子 | 小野 幸久 |
| | 高橋美知江 | 平岡 郁子 | 柏尾美恵子 | | |

〔入選〕
漢字の部

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 浅川 陽子 | 片山 芳明 | 田上 洋子 | 粟飯原優子 | 笠松八重子 |
| 鎌田 義人 | 横井三知代 | 大平美代子 | 吉田 有子 | 秦 知美 |
| 前田 麻子 | 中谷 明美 | 新居 鉄郎 | 春藤 秀子 | 藤田喜美代 |
| 豊浦 佳子 | 飯田 公子 | 宇山 和治 | 佐々 京子 | 岡 典子 |
| 矢部 知子 | 近藤 美香 | 青木 博美 | 阿部 千明 | 横田あかね |
| 米澤 司子 | 吉田 京子 | 藤山真由里 | 藤川 幸栄 | 熊代 厚子 |
| 佐藤真由美 | 小倉 孝子 | 藤岡千江子 | 石井 孝代 | 鳩成 広美 |
| 美馬 潤子 | 稲木 裕美 | 高尾 泉 | 扶川 治子 | 濱口 摩利 |
| 安原 照代 | 杉本 妙子 | 奥田 文子 | 宮本 暁美 | 原 貞子 |
| 大野シゲ子 | 笠原 笑子 | 桑田 次雄 | 大下 富江 | 村部 幸子 |
| 岡本美津代 | 松浦 幸子 | 金子 博明 | 丸岡 由美 | 福家 佳余 |
| 古川 恵巳 | 詫間 勝子 | 川村 真澄 | 中川 博雅 | 東川 真美 |
| 吉田 幸代 | 河野 政美 | 戸出 浩子 | 村沢健太郎 | 佐野 敦子 |

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 高木 瑞枝 | 勝浦 美和 | 三好 啓子 | 木内理映子 | 新見 明子 |
| 西村 宣昭 | 澤本 鈴美 | 有井 清 | 大塚 唯士 | 倭 いずみ |
| 山崎 真美 | 加藤 智子 | 久保 朝子 | 橋本 康喜 | 駒田 澄子 |
| 河野多美子 | 八木 澄江 | 大本由紀子 | 寺内 絹恵 | 鈴木 正友 |
| 園尾 淑子 | 前川 博子 | 松永 浩子 | 稲田 恵子 | 安藝 知代 |
| 谷 貴美子 | | | | |

篆刻の部

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 住友 通瑛 | 内田美代子 | 胡桃 幸正 | 矢本 貴子 | 津村 信子 |
| 田中 昭二 | 貝塚 鎮雄 | 山川弥栄子 | 岡部 武見 | 横田津喜子 |
| 真鍋 一美 | 中川亜有美 | 射場 博子 | | |

仮名の部

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|--------|
| 芳田 知子 | 佐藤 友里 | 草苺 明美 | 藤幹 康子 | 長野 由美 |
| 山腰 知子 | 金子 博明 | 中村 絢子 | 福島 由子 | 中西 甫子 |
| 西岡 友紀 | 濱川 美沙 | 由利 里子 | 福本早矢賀 | 三宅 優子 |
| 増田 愛子 | 鈴江美音子 | 河野 静江 | 坂野 雅子 | 藤原 育代 |
| 井内 愛 | 笹田 真里 | 西宇 明美 | 三好 啓子 | 大久保佳余子 |
| 加藤かつ子 | 吉田美重子 | 荒岡 直子 | 山本 恵子 | 向井美由希 |
| 森 弥生 | 大島 弘子 | 宮崎 早苗 | 高島 智子 | 大西 啓子 |
| 近藤真千子 | 井上 まり | 上田 久恵 | 山本 美幸 | 大西 順子 |
| 福良美代子 | 赤川久美子 | 遠藤 由子 | 背川 章子 | 倉本 節子 |
| 藤中 英子 | 椎本 敬子 | 吉田 幸子 | 柏原 善子 | 福村喜代子 |
| 高橋加奈子 | 風川 悦子 | 関 藤子 | 一ツ松真弓 | 遠藤 孝子 |
| 皆谷 露子 | 江本 良江 | 林 孝枝 | 湊 泰子 | 竹中 敏恵 |
| 福井 恵子 | 中村真由美 | 井上小百合 | 折野 佳子 | 古谷 和代 |
| 吉田 亜矢 | 亀石 二三 | 藤井 昭子 | 井口 ひろ | 山橋不二子 |
| 藤田 健二 | 藤井三樹子 | 中野 幸代 | 高木美賀子 | 吉田 好孝 |
| 加藤 光子 | 内田 麻紀 | 鳥庭 貴子 | 野木 美和 | 加村喜美子 |
| 藤本満里子 | 田岡佐記子 | 久積希実子 | 伊丹 志織 | 大平 英子 |
| 原田 葉子 | 崎野亜希子 | 桃田 和子 | 川崎 景子 | 佐藤 千紘 |
| 大原 千佳 | 吉田あゆみ | 新子 町子 | 吉坂真理子 | 脇坂 優 |
| 権田 明菜 | 津田 上生 | | | |

近代詩文の部

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 丸岡 良子 | 森本知世子 | 矢野 照代 | 吉田さい子 | 吉田佐知子 |
| 吉本真理子 | 若林 節子 | 渡邊 亜希 | 和田 悦代 | 和田富美子 |
| 朝三 和子 | 天野 豊 | 糸田川純子 | 犬伏 靖江 | 今山 静恵 |
| 岩本 雅三 | 遠藤玻都恵 | 大井多鶴子 | 大島 清子 | 大西 英子 |
| 岡川 泰江 | 川端喜美子 | 川人 和美 | 木田 史子 | 栗山 弘子 |
| 桑村 清 | 幸田 康代 | 坂尾 俊一 | 榊原早知子 | 坂本 貴子 |
| 佐藤 恵子 | 里村 典子 | 佐原 武子 | 清水 三枝 | 新開ひとみ |
| 高瀬 善郎 | 武田 淳子 | 武樋 清子 | 谷口 昭子 | 谷口 陽子 |
| 谷本 清子 | 玉城 若菜 | 出原とし子 | 中島 和子 | 長井 洋子 |
| 長尾由美子 | 長野 裕子 | 仁木しもえ | 橋本 君代 | 浜口 敏子 |
| 春川 登 | 引地 美貴 | 福山 啓子 | 藤本 優子 | 松岡 文子 |
| 山口 幸子 | 川上 理恵 | 野口 晴世 | 松尾美和子 | 宮本 光和 |
| 横山 定由 | 脇川千鶴子 | 青柳 司 | 岩崎 麻美 | 川人 宏子 |
| 栗林 和江 | 定本 宏美 | 信夫 陽子 | 清水 美穂 | 竹中 袖恵 |
| 豊田 直美 | 中野 美恵 | 早川美智子 | 丸田 三恵 | 野田 満代 |
| 野田 洋子 | 川又 敏香 | 鳥井佐知子 | 板東タマエ | 竹川 秀穂 |
| 伊丹 志織 | 小竹 正高 | | | |

前衛の部

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 枅富 年子 | 原田 洋志 | 梶川 佳奈 | 阿部 公恵 | 大胡恵里香 |
| 伊藤 真美 | 麻植塚由佳 | 大胡 真美 | 三浦 みや | 中野 朋子 |
| 水野 知子 | 宮崎由佳利 | 小川 景子 | 吉田 早見 | 筒井 美帆 |
| 大黒未来美 | 中川 博雅 | 中川 富量 | 名西 博章 | 義富 博正 |
| 中峰 満世 | 関口 佳子 | 村田 泰輝 | 林 浩一 | 伊丹 明美 |
| 高松 輝子 | | | | |

デザイン

〔審査員〕 中村 誠

〔特別出品〕 坂本三千一

〔招待〕 浅野 昌哉 斎藤 繁次 坂野美恵子

〔賛助出品〕 福井 章

〔特選〕 西條 明彦 (徳島市長賞)

斎藤 剛

〔準特選〕 北島 豊嗣 木下かおり 日下 陽子

| | | | | | | |
|-------|----------------------|-------|-------|-------|----------------------|--|
| 〔奨励賞〕 | 廣永 麻衣 | 新居 成美 | 高田 朋枝 | | | |
| 〔入選〕 | 脇本 正久 | 山口香保利 | 吉本由佳里 | 中野 仁美 | 内藤 光貴 | |
| | 岡田あゆみ | 有持 綾子 | 坂本 幸 | 四宮のどか | 蔵澄 咲帆 | |
| | 吉村 渚 | 小笠原瑞穂 | 武市えりな | 埴渕 照二 | 敷島のり子 | |
| | 斎藤志津子 ⁽²⁾ | 山住 幸子 | 佐伯 奏美 | 粟飯原由依 | 豊岡 佳奈 | |
| | 坂東真由美 | 春川 法古 | 上栗 健 | 美浪 恵利 | 市原 充恵 | |
| | 新田 尚美 | 池内 遥 | 今瀬 健太 | 天羽 恵子 | 三島 真弓 | |
| | 福本 恭子 | 前野智恵子 | 四十宮隆志 | 斎藤 剛 | 横田 実希 ⁽²⁾ | |
| | 矢田 明子 | 玉置 雅代 | | | | |

◆第57回記録の中で次の箇所に間違いがありましたので訂正してお詫びします。

| 頁 | 誤 | 正 |
|----|----------------|---------|
| 20 | 美術工芸〔準特選〕四十代年代 | → 四十宮年代 |
| 24 | デザイン〔入選〕四十宮年代 | → 四十宮隆志 |

第58回県美術展出品・入選等状況

| 部門 | | 日本画 | 洋画 | 写真 | 彫刻 | 美術工芸 | 書道 | デザイン | 計 |
|-----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 区分 | | | | | | | | | |
| 出品数 | | 71 | 309 | 922 | 21 | 175 | 818 | 122 | 2,438 |
| 人数 | | 66 | 204 | 300 | 21 | 121 | 572 | 103 | 1,387 |
| 入選 | 率 | 59.2% | 32.7% | 16.7% | 61.9% | 60.0% | 41.9% | 38.5% | 33.0% |
| | 特別賞 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 |
| | 特選 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 8 | 2 | 22 |
| | 準特選 | 3 | 5 | 8 | 2 | 3 | 13 | 3 | 37 |
| | 奨励賞 | 3 | 5 | 8 | 2 | 3 | 13 | 3 | 37 |
| | 入選 | 34 | 88 | 133 | 8 | 97 | 309 | 39 | 708 |
| | 計 | 42 | 101 | 153 | 13 | 105 | 343 | 47 | 804 |
| 落選 | 率 | 40.8% | 67.3% | 83.3% | 38.1% | 40.0% | 58.1% | 61.5% | 67.0% |
| | 落選 | 29 | 208 | 769 | 8 | 70 | 475 | 75 | 1,634 |
| 招待等 | 特別出品 | 1 | 3 | | 1 | 1 | 3 | 1 | 10 |
| | 招待 | 6 | 5 | 24 | 4 | 9 | 41 | 3 | 92 |
| | 無鑑査 | 2 | | 1 | | 1 | | | 4 |
| | 賛助出品 | 1 | 8 | | 1 | 2 | 1 | 1 | 14 |
| | 計 | 10 | 16 | 25 | 6 | 13 | 45 | 5 | 120 |
| 展示数 | | 52 | 117 | 178 | 19 | 118 | 388 | 52 | 924 |

◎特別賞は特選の内数である。

德 島 県 美 術

| 部門 回数 | 日 本 画 | 洋 画 | 写 真 | 彫 塑 |
|----------|---------|----------------------|---------|----------------------|
| 1 | 委 員 | 〔野 間 仁 根 家 永 三 郎〕 | 委 員 | |
| 2 | 大 栗 旌 仟 | 野 間 仁 根 | 上 田 備 山 | 〔太 田 三 郎 坂 東 文 夫〕 |
| 3 | 委 員 | 伊 原 宇三郎 | 同 上 | 〔太 田 三 郎 坂 東 文 夫〕 |
| 4 | 委 員 | 須 田 国太郎 | 同 上 | 同 上 |
| 5 | 上 村 松 篁 | 田 村 孝之介 | 小 野 由 行 | 〔太 田 三 郎 坂 東 文 夫〕 |
| 6 | 西 山 英 雄 | 伊 藤 繼 郎 | 川 崎 亀太郎 | 同 上 |
| 7 | 山 口 華 楊 | 田 川 勤 次 | 棚 橋 紫 水 | 新 田 藤太郎 |
| 8 | 池 田 遙 村 | 須 田 剋 太 | 同 上 | 〔太 田 三 郎 坂 東 文 夫〕 |
| 9 | 水 田 竹 圃 | 小 出 卓 二 | 同 上 | 同 上 |
| 10 | 管 楯 彦 | 〔鈴 木 信太郎 野 間 仁 根〕 | 同 上 | 同 上 |
| 11 | 奥 村 厚 一 | 井 上 長三郎 | 岩 宮 武 二 | 同 上 |
| 12 | 浜 田 観 | 福 沢 一 郎 | 棚 橋 紫 水 | 同 上 |
| 13 | 小 松 均 | 藤 井 令太郎 | 同 上 | 〔辻 東 晋 堂 坂 東 文 夫〕 |
| 14 | 秋 野 不 矩 | 針 生 一 郎 | 岩 宮 武 二 | 針 生 一 郎 |
| 15 | 奥 村 厚 一 | 向 井 潤 吉 | 棚 橋 紫 水 | 管 沼 五 郎 |
| 16 | 同 上 | 吉 原 治 良 | 岩 宮 武 二 | 柳 原 義 達 |
| 17 | 松 尾 冬 青 | 中 谷 泰 | 同 上 | 向 井 良 吉 |
| 18 | 矢 野 鉄 山 | 池 島 勘治郎 | 同 上 | 安 田 周三郎 |
| 19 | 中 村 貞 以 | 森 芳 雄 | 堀 内 初太郎 | 堀 内 正 和 |
| 20 | 曲 子 光 雄 | 桂 ムキ子 | 岩 宮 武 二 | 植 木 茂 |
| 21 | 沢 野 文 臣 | 伊 谷 賢 蔵 | 同 上 | 佐 藤 忠 良 |
| 22 | 堂 本 阿岐羅 | 村 井 正 誠 | 同 上 | 辻 晋 堂 |
| 23 | 松 岡 政 信 | 山 下 大五郎 | 岩 宮 武 二 | 井 上 武 吉 |
| 24 | 山 崎 忠 明 | 大 沢 昌 助 | 棚 橋 紫 水 | 菊 池 一 雄 |

展 審 査 員 一 覧

| 美術工芸 | 書 道 | デ ザ イ ン |
|-----------------|-----------------------------------|---------|
| 鬼塚信之 | 委 員 | |
| 同 上 | 田 中 白 村 | |
| 同 上 | 炭 山 南 木 | |
| 同 上 | 炭山南木・織田子青 | |
| 同 上 | 手 島 右 卿 | |
| 〔鬼塚信之 新田藤太郎〕 | 同 上 | |
| 鬼塚信之 | 小 坂 奇 石 | |
| 明石朴景 | 辻 本 史 邑 | |
| 会田裕宣 | 織田子青（漢）・出口草露（仮） | |
| 鴨 政 雄 | 松 井 恕 流 | |
| 近 藤 悠 三 | 荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰 | |
| 平 松 宏 春 | 同 上 | |
| 同 上 | 荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠 | |
| 大 西 忠 夫 | 荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰 | |
| 明石朴景 | 同 上 | |
| 平 松 宏 明 | 同 上 | |
| 大 西 忠 夫 | 同 上 | |
| 鴨 政 雄 | 同 上 | |
| 平 松 宏 春 | 同 上 | |
| 内 田 邦 夫 | 同 上 | |
| 山 脇 洋 二 | 同 上 | |
| 槻 尾 宗 一 | 同 上 | |
| 山 脇 洋 二 | 荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰 | |

| 部門 回数 | 日 本 画 | 洋 画 | 写 真 | 彫 刻 (46回まで彫塑) |
|----------|--------|--------|-------------|------------------|
| 25 | 奥村厚一 | 斉藤真成 | 棚橋紫水 | 原武典 |
| 26 | 梶喜一 | 島村三七雄 | 同 上 | 掛井五郎 |
| 27 | 上原卓 | 高田誠夫 | 伊藤知己 | 松村外次郎 |
| 28 | 黒光茂樹 | 中問冊夫 | 岩宮武二 | 小島広志 |
| 29 | 松岡政信 | 島田章三 | 同 上 | 保田春彦 |
| 30 | 黒光茂樹 | 田中岑雄 | 同 上 | 篠崎明雄 |
| 31 | 河合健二 | 田中忠雄 | 同 上 | 江口週 |
| 32 | 長谷川青澄 | 山口長男 | 〔岩伊〕宮藤武知 二己 | 一色邦彦 |
| 33 | 松岡政信 | 吉井忠 | 〔岩秋〕宮山武庄太郎 | 柳原義達 |
| 34 | 山岸純 | 小西保文 | 岩宮武二 | 清水九兵衛 |
| 35 | 樋笠数慶 | 小荻保太郎 | 同 上 | 桜井祐一 |
| 36 | 坂口麻沙子 | 吉井淳二 | 同 上 | 土谷武道 |
| 37 | 下田義寛 | 野見山暁 | 同 上 | 山本正九兵衛 |
| 38 | 同 上 | 須田藤真 | 高田誠三 | 清城孝一郎 |
| 39 | 同 上 | 斉藤真 | 同 上 | 清水良治 |
| 40 | 下保昭 | 津高和一 | 〔岩高〕宮田武誠 一三 | 清井敏夫 |
| 41 | 橋田二朗 | 小松崎邦雄 | 奈良原宮武 二 | 淀木津本 |
| 42 | 松本哲男 | 国領山光 | 岩三木田誠 三 | 橋山土峯 |
| 43 | 山岸純夫人 | 利根穴宏寛 | 高三木木義 三 | 谷田島敏 |
| 44 | 平福井爽夫人 | 赤桜井森朔重 | 三立木木義 三 | 峯谷田島 |
| 45 | 福岩穂一 | 大谷本重 | 三立木木義 三 | 小島引島 |
| 46 | 岩重一 | 大谷本重 | 三立木木義 三 | 建綿古恩 |
| 47 | 田淵俊夫人 | 大馬沼越陽 | 杵杵奈良 | 石井浦林 |
| 48 | 中路融夫人 | 三栖根樹田 | 奈良藤江田 | 石井浦林 |
| 49 | 中下田藤早人 | 三松樹田吉 | 奈良藤江田 | 石井浦林 |
| 50 | 工藤多目功一 | 中松樹田吉 | 奈良藤江田 | 石井浦林 |
| 51 | 那波須勝一 | 那藤樹田吉 | 奈良藤江田 | 石井浦林 |
| 52 | 那須勝一 | 那藤樹田吉 | 奈良藤江田 | 石井浦林 |
| 53 | 那須勝一 | 那藤樹田吉 | 奈良藤江田 | 石井浦林 |
| 54 | 内田敏隆和 | 奥佐々木津本 | 高大石江 | 小日石原 |
| 55 | 松尾崎本 | 佐々木津本 | 高大石江 | 小日石原 |
| 56 | 山崎本 | 大山津本 | 高大石江 | 小日石原 |
| 57 | 岩大 | 福島 | 江成 | 菅原 |
| 58 | 大 | 福島 | 江成 | 菅原 |

| 美術工芸 | 書道 | デザイン (37回まで商業美術) |
|-------|---|---------------------|
| 藤本能道 | 荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴・田中栢翠 富永眉峰 | 金野弘 |
| 三井安蘇夫 | 同上 | 大智浩 |
| 六角穎雄 | 同上 | 早川良雄 |
| 鈴木貫爾 | 同上 | 原弘 |
| 田村耕一 | 同上 | 田中一光 |
| 山脇洋二 | 同上 | 奥野英雄 |
| 浅野陽 | 同上 | 灘本唯人 |
| 前田泰次 | 同上 | 大高猛 |
| 山脇洋二 | 同上 | 福田繁雄 |
| 中村光哉 | 荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰・新居藍州 | 福永一正 |
| 山脇洋二 | 同上 | 山城隆一 |
| 田村耕一 | 荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰 西岡楚峰 | 粟津潔 |
| 同 上 | 同上 | 田中一光 |
| 山下恒雄 | 荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰 | 長友啓典 |
| 同 上 | 同上 | 亀倉雄策 |
| 浅野陽 | 荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・春藤大耿 高原清泉・田中双鶴・田中栢翠・長江清幽 新居藍州・西岡楚峰 | 伊藤憲治 |
| 中村光哉 | 明石春浦・坪井正庵 | サイトウ・マコト |
| 浅野陽 | 桜井琴風・黒野清宇 | 佐藤晃一 |
| 山下恒雄 | 大岡皓崖・山田伍雲・西野象山 | 河北秀也 |
| 三浦小平二 | 花田峰堂・小山素洞・東地滄厓 | 松永真己 |
| 松永勲 | 浅見綿龍・森本妙子・加藤大碩 | 浅葉克雄 |
| 山下恒雄 | 近藤撰南・東山一郎・中野北溟 | 勝井三暢 |
| 島田文雄 | 谷村暎齋・植村和堂・太田義久 | 五十嵐威輝 |
| 大西長利 | 安原皐雲・池田桂鳳・金子卓義 | 青葉益真 |
| 山下恒雄 | 鈴木桐華・西本支星・金子聴松 | 松永丸 |
| 島田文雄 | 尾崎邑鷗・井茂圭洞・大井綿亭 | 安西水丸 |
| 中井貞次 | 栗原蘆水・榎倉香邨・種谷扇舟 | U. G. サト一 |
| 栗木達介 | 甫田鶏川・小山やす子・石飛博光 | 早川良雄 |
| 宮田亮平 | 杭迫柏樹・藤木正次・吉田成堂 | 戸田正寿 |
| 松永勲 | 津金孝邦・池田桂鳳・松永暘石 | 杉浦康平 |
| 竹内順一 | 田中節山・村上俄山・黒田玄夏 | 秋山孝享 |
| 栗木達介 | 宮崎葵充・赤江華城・金子卓義 | 遠藤誠 |
| 中井貞次 | 星弘道・宮重小蘭・西野象山 | |
| 島田文雄 | 吉川蕉仙・清水透石・作田英嗣 | |

第12回 放美展記録

会 期 平成15年 5月1日(木)～5日(月・祝)
会 場 県郷土文化会館

日 本 画

| | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| 〔審査員〕 | 長尾 弘子 | 土方るみ子 | 岡 英彦 | | | |
| 〔運営委員〕 | 西野 和男 | 長谷 壽 | | | | |
| 〔美協理事〕 | 橋本 正弘 | | | | | |
| 〔無鑑査〕 | 柳田 一子 | | | | | |
| 〔放美賞〕 | 斎藤 久男 | | | | | |
| 〔優秀賞〕 | 三ツ本繁美 | 黒田 實 | | | | |
| 〔入 選〕 | 高部 恒香 | 井藤 茂雄 | 米沢 房一 | 吉田 満子 | 中村 繁子 | |
| | 藤岡 由美 | 西村美也子 | 島山 耀子 | 三谷 浩三 | 元木 隆次 | |
| | 岡澤 茂子 | 川原 光恵 | 榎本 初子 | 眞淵佐紀子 | 米沢 稔 | |
| | 板東智恵子 | 矢部 恵子 | 南 清子 | 森崎 雅子 | 五宝喜美子 | |
| | 井内カヨ子 | 丸岡 明子 | 坂本 久江 | 村上 温佳 | 西森万里子 | |
| | 阿部沙奈恵 | 有井 由佳 | 丸山 恵里 | 玉田 紘子 | 西岡 ちほ | |
| | 石動 智子 | 平野ひろみ | | | | |

洋 画

| | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| 〔審査員〕 | 岡本 征二 | 長尾 弘久 | 榊田 務 | | | |
| 〔運営委員〕 | 玉田 秀子 | | | | | |
| 〔美協会長〕 | 佐野比呂志 | | | | | |
| 〔美協理事〕 | 黒崎 志郎 | 岡 多美子 | | | | |
| 〔美協顧問〕 | 永山 隆二 | | | | | |
| 〔無鑑査〕 | 河本多恵子 | 佐々木 超 | 福良 哲子 | 三谷ミヤ子 | 関 京子 | |
| 〔放美賞〕 | 田中シゲミ | | | | | |
| 〔優秀賞〕 | 青木 幸子 | 南 清子 | 野上 恵子 | 大西 文代 | 木下 和江 | |
| | 岸本 花子 | 結城 栄子 | | | | |
| 〔入 選〕 | 尾田 稔子 | 松島 正 | 小笠原秋子 | 谷口 節 | 中山 清一 | |
| | 石川 太亮 | 土橋 正子 | 横井嘉世恵 | 中川 清隆 | 新居 千尋 | |
| | 岡田 典子 | 為実 啓剛 | 岡田 和泰 | 井沢 忠昭 | 筒井 正治 | |
| | 浅山 久子 | 武田 洋子 | 東原 綺子 | 増田 政春 | 河村 君子 | |
| | 川田 績 | 須見 澄子 | 大崎 聡美 | 尾西 敬子 | 堀江 幸子 | |
| | 坂田 千恵 | 佐藤 友美 | 日岡 富子 | 和田 寿子 | 長尾賀代子 | |
| | 二條 均 | 梅津美砂代 | 松原 恵子 | 曾我部秀子 | 林 敏雄 | |
| | 阿部 昌子 | 黒石 敦子 | 川原 禮子 | 為実美恵子 | 北 美智子 | |

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 村上 富子 | 来見まゆみ | 伊原 妙子 | 島田 英子 | 鈴木 敬子 |
| 三木真由美 | 浅井 香織 | 阿部 文代 | 越久 高照 | 山口 明美 |
| 堀井 源三 | 篠原 稔 | 中本真由美 | 貝瀬 信子 | 岡 フミ子 |
| 田中 康子 | 若山 一恵 | 桶川 佳広 | 佐々木 茂 | 島田美奈子 |
| 小川 雅代 | 山橋大二郎 | 相原 利絵 | 村上 富子 | 村澤寿美子 |
| 野村 雅子 | 関 政明 | 中村ようこ | 西條 未紗 | 大西 道夫 |
| 竹内 梢 | 白草 由子 | | | |

写 真

| | | | | | |
|--------|----------|----------|----------|----------|----------|
| [審査員] | 安長 剛 | 井上 光雄 | | | |
| [運営委員] | 荒井 賢治 | 櫛淵 魏 | | | |
| [美協理事] | 酒井 博司 | | | | |
| [美協顧問] | 西條 征二 | | | | |
| [無鑑査] | 赤木 昭子 | 堀口 幸男 | 柳本 正 | | |
| [放美賞] | 正見 晃章 | | | | |
| [優秀賞] | 川真田慶治 | 溝淵 寛治 | 近藤 恵子 | 久保 英樹 | 柳川 信子 |
| | 石川 徹雄 | 佐々木敏幸 | 西野 倫子 | 山中 利治 | 河田 清 |
| | 漆原はつ子 | 下山 久男 | 小林 保子 | 野口 道子 | 板東 敏晴 |
| | 岡村 清 | 辻 絹子 | 土橋 成行 | 渡邊 信二 | 久積 豊 |
| | 梅本 貞範 | | | | |
| [入 選] | 佐野 和史 | 遠藤 達郎 | 田中喜久夫 | 神野 太三 | 丸岡 節子(2) |
| | 根ヶ山 治(2) | 川真田慶治 | 妹尾 早苗 | 阿部 一雄 | 久我 千鶴(3) |
| | 高橋 弘 | 佐治 孝 | 谷 賢太郎 | 吉本 保夫 | 伊達 照子 |
| | 池添 秀信(2) | 佐藤 義雄 | 近藤 恵子 | 酒井 富子 | 坂田 能啓 |
| | 久保 英樹 | 森住 孝義 | 笠井 房子 | 中村 茂人 | 大森 孝克 |
| | 板東 弘美(2) | 十川 和也 | 梅久 匠(2) | 吉崎 伝(2) | 喜多 昌弘 |
| | 前坂 祥文 | 山本 雅敏 | 村永 良輔 | 板東 泰雄 | 内田 忠秋(3) |
| | 内田 澄子(2) | 野藤 敏美 | 野藤みきよ(2) | 中野 昭子(2) | 栗田ふさえ(2) |
| | 森 英弘(2) | 増谷 好子 | 中本 和男 | 岡田 勝吉 | 柳川 信子 |
| | 米塚 稔(2) | 佐々木敏幸 | 四宮 清文(3) | 西野 倫子 | 伊東 勉(3) |
| | 河田 清 | 漆原はつ子 | 岸本 英紀 | 笹尾 正夫 | 藤田 羔爾 |
| | 辻 義徳 | 高野 作男 | 梶村 鉄次 | 福田 満雄 | 小林 保子(2) |
| | 野口 道子(2) | 木村美紗子 | 播 博文 | 岸田 知久 | 板東 敏晴 |
| | 武林 恭史(2) | 田中 伸廣(2) | 奥野 持重(3) | 川西 明雄 | 大津 勝治 |
| | 岡村 清 | 上杉 大一 | 森内 昭男(2) | 音見千代子 | 榎本 淳司 |
| | 埴淵 照二 | 横田 正敏(2) | 松田 昇(2) | 松本 春子(2) | 志摩 育美 |
| | 橋本 和夫(2) | 福本 友恵(2) | 高木 伸幸 | 板東 律雄 | 国見 良幸(2) |

| | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 片岡嘉寿代 | 大和 健司(2) | 松原 玲子 | 辻 絹子 | 平野 史子 |
| 渡邊 信二 | 大西 啓子 | 岡久 吉徳(2) | 久積 豊 | 山下 助信(2) |
| 坂野 正明(2) | 宮前 稔 | 林 好一(3) | 臣守 澄江(2) | 梅本 貞範 |
| 藤川 知之 | 渡辺 幸 | 四宮 正恵(2) | 松尾 良子 | 中野 久世(2) |
| 富加見美枝 | 吉村 敏嗣 | 佐倉 幹雄 | 稲井 芳男 | 小山 秀晃 |
| 山中 祐子(2) | 中山 良男(2) | 中島 敏子 | 中河美智子 | 大塚喜久子(2) |
| 森 光(3) | 井上 秀人(3) | 島 廣幸 | 後藤 和美 | 踏脱 公男 |
| 福島 誠浄 | | | | |

彫 刻

| | | | | | | |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| 〔審査員〕 | 佐藤 隆 | 井下 俊作 | 松永 勉 | | | |
| 〔美協理事〕 | 鎌田 邦宏 | | | | | |
| 〔美協副会長〕 | 河崎 良行 | | | | | |
| 〔無鑑査〕 | 笠井 正彦 | | | | | |
| 〔放美賞〕 | 東 光司 | | | | | |
| 〔優秀賞〕 | 井上 喜美 | | | | | |
| 〔入選〕 | 武田亜希子 | 斎藤 康男 | 椋本 幸男 | 福島 祥博 | 二宮 治夫 | |
| | 丸岡 明子 | 清水久美子 | 伊丹レイ子 | 山本 秀子 | 実平 千春 | |
| | 小幡 涼子 | 尾崎 亜衣 | 東 常一 | 橋本 敬子 | | |

美術工芸

| | | | | | | |
|--------|-------|-------|----------|-------|-------|--|
| 〔審査員〕 | 森 明治 | 高橋 勇 | | | | |
| 〔運営委員〕 | 松下 慶一 | | | | | |
| 〔無鑑査〕 | 斎藤 和彦 | 吉田 敏明 | 桜井 慎治 | 四十宮年代 | | |
| 〔放美賞〕 | 寒川 治雄 | | | | | |
| 〔優秀賞〕 | 加藤 伴江 | 藪内麻里子 | 清水美代子 | 長尾 重美 | 吉田 陽子 | |
| 〔入選〕 | 日高 琴美 | 宮本 薫 | 平岡美津子 | 湯佐 厚子 | 近藤 川津 | |
| | 原田 重雄 | 渡辺智恵子 | 田岡 昌子 | 北野 亘章 | 椎野 隆子 | |
| | 三宅 久子 | 松原 敦子 | 四宮 千代 | 鶴山 早苗 | 手塚 健一 | |
| | 大川 健次 | 福岡ムメコ | 吉田 祐子 | 平田志保子 | 阿部まきみ | |
| | 吉川 茂 | 富田チエ子 | 隅田 良佑(2) | 今出 周子 | 武田 美子 | |
| | 大貝 寿子 | 大貝 貞雄 | 富永 裕子 | 中西 達也 | 鈴江 兼子 | |
| | 坂 禮子 | 山内 雅文 | 中川 英子 | 水野 豊子 | 岡田 邦子 | |
| | 小笠原瑞穂 | 田口健一郎 | 板東 啓子 | 山崎 敏子 | 藪下 昭博 | |
| | 楠 正陶 | 鳥井 明子 | 大西江利加 | 田村栄一郎 | 田村 佳代 | |

デザイン

〔審査員〕 坂本三千一 北島 豊嗣 坂野美恵子
 〔美協理事〕 福井 章
 〔放美賞〕 後藤 郁美
 〔優秀賞〕 佐伯 奏美 須藤 政代 松原 由佳
 〔入 選〕 小谷 万智 佐伯 奏美 柴田 咲 浅野 敦司 原田 愛
 西岡 沙耶 後藤 郁美 原田 寛子 池内 由貴 村井 千裕
 山口 舞 山田あゆみ 有持 綾子 坂本 幸 四宮のどか
 蔵澄 咲帆 廣永 麻衣 貞野みどり 吉村 渚 坂東真由美(2)
 中野 仁美 神崎 利也 岩佐美和子 泉 真里 堀 測 梓
 青山 恵美 浮津 吉陽 生川 佳代 横手亜紗美 大下 哲郎
 青木 成美 伊勢 容子 岡本 寛明 東條 千夏(2) 岡田奈央子
 西 圭子

第12回放美展出品・入選等状況

| 区分 | 部門 | 日本画 | 洋画 | 写真 | 彫刻 | 美術工芸 | 書道 | デザイン | 計 |
|-----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 出品数 | | 58 | 178 | 519 | 23 | 128 | 165 | 74 | 1,145 |
| 人数 | | 51 | 138 | 214 | 19 | 89 | 157 | 65 | 733 |
| 入選 | 率 | 60.3% | 44.9% | 37.2% | 69.6% | 68.8% | 66.7% | 56.8% | 49.3% |
| | 放美賞 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 |
| | 優秀賞 | 2 | 7 | 21 | 1 | 5 | 7 | 3 | 46 |
| | 入選 | 32 | 72 | 171 | 14 | 82 | 102 | 38 | 511 |
| | 計 | 35 | 80 | 193 | 16 | 88 | 110 | 42 | 564 |
| 選外 | 率 | 39.7% | 55.1% | 62.8% | 30.4% | 31.2% | 33.3% | 43.2% | 50.7% |
| | 落選 | 23 | 98 | 321 | 7 | 40 | 55 | 32 | 581 |
| 無審査 | 審査員 | 3 | 3 | 2 | 3 | 2 | 3 | 3 | 19 |
| | 運営委員 | 2 | 1 | 2 | | 1 | 3 | | 9 |
| | 美協役員 | 1 | 4 | 2 | 2 | | 4 | 1 | 14 |
| | 無鑑査 | 1 | 5 | 3 | 1 | 4 | | | 14 |
| | 計 | 7 | 13 | 9 | 6 | 7 | 10 | 4 | 56 |
| 展示数 | | 42 | 93 | 202 | 22 | 95 | 120 | 46 | 620 |

| | | | | |
|-------|-------|-------|----------|---------|
| 梶原 浩二 | 横井嘉世恵 | 平尾 静子 | 村川 栄一 | 田村 孝志 |
| 柴田 善幸 | 松本みづる | 藤井 雅代 | 漆原 久子 | 原 嶋子 |
| 福島 祥博 | 広瀬由美子 | 阿部真由美 | 竹内寿和子 | 北村久美子 |
| 三橋 玄児 | 大東 弘子 | みついみつ | 藤川 愛子(2) | 五味八千代 |
| 椋原 道雄 | 椋原フサコ | 吉野 由紀 | 吉田 晃子 | 近藤 静恵 |
| 中村ようこ | 一條 宏明 | 夏目みくり | 小林 徳子 | 森 克江(2) |
| 内田 大輔 | 篠原 光彦 | 一宮多枝子 | 美浪 文 | 中川 正和 |

書 道

| | | | | | |
|---------|---------|-------|-------|-------|-------|
| [審査員] | 永松 春苑 | 能仁 華瑤 | 長谷 美峰 | | |
| [運営委員] | 薄田 玲泉 | 上田 溪水 | 長原 皋聖 | | |
| [美協副会長] | 讃岐 泰泉 | | | | |
| [美協理事] | 新居 藍州 | 荒井 彭仙 | 春藤 大耿 | | |
| [放美賞] | 岡川 泰江 | | | | |
| [優秀賞] | 高田由里子 | 川下小夜子 | 原 貞子 | 西岡 咲子 | 林 美雪 |
| | 加藤 智子 | 荒川 佳子 | | | |
| [入 選] | 春川 登(2) | 藤永 真里 | 市原 典子 | 大塚 唯士 | 大本由紀子 |
| | 田井 晴風 | 洲崎 忠雄 | 吉田 和子 | 藤本 富子 | 小野 幸久 |
| | 野口 有香 | 佐々木 肇 | 井上 景玄 | 吉野 清 | 弘田 敏章 |
| | 近藤 由子 | 稲田 恵子 | 山村 定子 | 稲田 紀子 | 平野 和美 |
| | 谷 貴美子 | 牧野美弥子 | 安藝 知代 | 東條 一恵 | 出口久美子 |
| | 中川 恵 | 辻内 恵子 | 元吉 裕子 | 佐藤 真 | 児玉 幸子 |
| | 早川美智子 | 安淵 靖慧 | 谷本 清子 | 竹井 澄子 | 庄野 信子 |
| | 宮本 暁美 | 岡本美津代 | 折野 茂幸 | 桑田 次雄 | 大野シゲ子 |
| | 杉本 妙子 | 中川恵美子 | 片山 保 | 出口寿満子 | 斎藤 弥生 |
| | 吉岡 美雲 | 野田 恭子 | 長尾恵美子 | 藤幹 康子 | 竹田 昭美 |
| | 見渡サカエ | 山澤 茂子 | 平野 俊子 | 大杉 三恵 | 橋本 実佳 |
| | 坂尾 俊一 | 遠藤 禎子 | 川端喜美子 | 田中 久子 | 中村 春岳 |
| | 丸岡 春暁 | 佐藤 威 | 中村ノブコ | 村部 幸子 | 信夫 陽子 |
| | 谷口 昭子 | 和田 悦代 | 吉田さい子 | 高瀬 善郎 | 向井 絵美 |
| | 内田 裕士 | 吉坂真理子 | 庄野 修一 | 岡部比登美 | 富浦 景子 |
| | 仁木恵美子 | 多賀 晴光 | 笠井 仁美 | 佐野 陽子 | 乗村 崇生 |
| | 外山 晴嶺 | 佐藤 香織 | 森 仁美 | 恵美 春陽 | 井内 愛 |
| | 倭 和泉 | 三国 文子 | 樋口 郁光 | 高見 瑤光 | 田中 梢月 |
| | 久保 光瑤 | 井内 廣容 | 荒川 哲信 | 藤川絵璃菜 | 山下 実希 |
| | 谷本智栄子 | 竹丸 陽子 | 若林 麗華 | 塩本 絵里 | 滝上 尚子 |
| | 栗城 茂子 | | | | |

~~~~~

各部記録

~~~~~

日 本 画 部

部 会 長 西 野 和 男

年間展望

◎第12回放美展（5月1日～5日 県郷土文化会館）

応募点数は、58点、昨年より7点減少したが内容的にも優れた作品が多く力作ぞろいだった。厳しい審査の中から入賞・入選数35点を選んだ。

| | | |
|-------|-------|-----------|
| 放 美 賞 | 「旬」 | 齋 藤 久 男 |
| 優 秀 賞 | 「早春」 | 三 ッ 本 繁 美 |
| ゝ | 「母往く」 | 黒 田 實 |

◎第58回県美術展（11月8日～16日 県郷土文化会館）

日本画部の応募点数は71点で、昨年の62点から比べると9点も増えている。その影響からか作品も年々大作が多くなり、質的にも向上しているように思える。審査は、日本美術院評議員の大矢紀先生にお願いした。

審査の総評は次のとおりである。

徳島の県展の審査は初めてだが、相対的に質が高く、驚いた。技術的にしっかりしており、構成的にも面白いところをついている作品が多く、審査できてうれしかった。上位作には、大向こうを狙ったものではなく、季節の花のように、当たり前の風景を自分に引きつけて描いたものが多く、好感が持てた。

徳島新聞社長賞の平野真里「芥子」は、「緑青」を中心に、数種類の緑系の岩絵の具を使い、葉の微妙な濃淡をよく表現しきった。緑と補色の関係にある赤で芥子の花を描いており、それもキラキラした赤ではなく、抑えた色調ながら「ここぞ」というポイントでは快い赤を出している。画面上部の白っぽい部分はプラチナだろうか、空間の広がりを感じさせて見事。光が差しているようで、幻想的な雰囲気醸しだし、作者の芥子に対する思いが伝わってくる。

特選の柳田一子「温室」は、熱帯植物園の一隅を描いたものだが、一つ一つの植物が何を描いたものかは関係ない。ひし形の空間によって、画面に広がりを与え、新味を感じさせた。上部から紫っぽい植物が垂れ下がっていて、画面を引き締めている。

大切なのは、技術ではなく、描きたいという気持ちが正面に出ること。対象と向き合いながら、自分を描く。作品には、人間としての経験や教養が自然とにじみ出るもので、小説を読んだり、歌を詠んだりして自己をみつめてほしい。世の中には、失敗はあって

も無駄はない。今回、思うように作品ができなかった人も、それを今後の糧としてほしい。

| | | |
|--------------|-------------|-------|
| 特選 (徳島新聞社長賞) | 「芥子」 | 平野 真里 |
| 〃 | 「温室」 | 柳田 一子 |
| 準特選 | 「収穫」 | 平野ひろみ |
| 〃 | 「凌霄花」 | 森崎 雅子 |
| 〃 | 「閑 II」 | 黒田 實 |
| 奨励賞 | 「浜辺」 | 石原 千鶴 |
| 〃 | 「ひき潮」 | 國尾由美子 |
| 〃 | 「連続非連続2003」 | 坂 容子 |

会員消息

今年も例年どおり、会員の方々がいろいろな展覧会で活躍された。次のとおり月別に紹介する。

| | | | |
|----|---------------------|-----------------|------------------------|
| 1月 | 橋本正弘展 | よんでんエネルギープラザ阿南 | 橋本正弘 |
| 〃 | 海部郡水墨画展 | よんでんエネルギープラザ阿南 | 木内和美 |
| 3月 | 第38回日本墨彩画院展 | 香川県文化会館 | 長谷 壽 |
| 〃 | 第11回田野町全国水墨画展 | 高知県田野町ふれあいセンター | 森 蔦苑・市川義溪・江上豊溪 木内和美 |
| 〃 | 海部郡水墨画展 | 海部町 | 木内和美 |
| 〃 | 第43回日本南画院展 | 東京・京都・大阪 美術館 | 長谷 壽・濱口芳春・藤井瑞雲 |
| 〃 | 第34回画展ふるさと | 県郷土文化会館 | 濱口芳春 |
| 4月 | 第38回日春展 | 東京銀座 松屋 | 岡 英彦 |
| 5月 | 第42回阿南市美術展 | 阿南市文化会館 | 長谷 壽・津田津保三 |
| 〃 | 溪生社水墨画展 | 県郷土文化会館 | 横田谿秀・江上豊溪 |
| 6月 | 長尾弘子氏、徳島県美術家協会副会長就任 | | |
| 〃 | 海部郡水墨画展 | 海南文化村 | 木内和美 |
| 〃 | 第36回珀雲社展 | 阿波銀プラザ | 長谷 壽・濱口芳春・藤井瑞雲 |
| 7月 | 第3回春郊会現代南画展 | 徳島市シビックセンター | 濱口芳春 |

- 7月 第2回スケッチと物理の教師原画展
徳島市シビックセンター 濱口芳春
- 8月 中央展出品者絵画展 県郷土文化会館 長谷 壽・濱口芳春・藤井瑞雲
 ♪ 第32回絵で見る徳島展 県郷土文化会館 濱口芳春
 ♪ 第32回徳島・仙台文化交流美術展
 県郷土文化会館 長尾弘子・土井洋子他多数出品
 ♪ 第92回徳島県女流美術家協会展
 県郷土文化会館 長尾弘子・土井洋子他多数出品
- 9月 海部郡水墨画展 牟岐町総合文化センター（海の家）
木内和美
- 10月 第61回有秋会展 大阪市立美術館 長谷 壽・濱口芳春・藤井瑞雲
吉田満子
 ♪ 第5回由岐町文化祭展 由岐ポッポマリン 長谷 壽
 ♪ 平成15年度県秀作巡回美術展
 日和佐コミュニティホール・羽ノ浦総合国民体育館
 由岐ポッポマリン・牟岐町海の総合文化センター
 西野和男・橋本正弘・長谷 壽
 土方るみ子
- 11月 第35回日展 東京都美術館 橋本正弘・岡 英彦・土方るみ子
 ♪ 第32回阿南市文化祭展 阿南市文化会館 長谷 壽・津田津保三
 ♪ 溪生社水墨画展 阿波銀プラザ 横田谿秀・江上豊溪
 ♪ 第4回福井町文化祭展 福井町総合センター 長谷 壽
 ♪ 日和佐町文化祭展 日和佐公民館 坂本久江・白河邦子・西口光代
 南 清子
 ♪ 牟岐町文化祭展 牟岐町海の総合文化センター
 木内和美
- 12月 第32回徳島新聞社チャリティー作品展
徳島そごう 長尾弘子・岡 英彦

洋 画 部

部 会 長 梶 田 務

年間展望

◎第58回県美術展（第1期 11月8日（土）～16日（日） 県郷土文化会館）

出品総数は309点で、前回展より30点増だった。加えて大作が多く、展示上、前回展より少ない105点が入賞・入選作品として選出された。入選率は32.7パーセントで昨年比5ポイント減という厳選になった。

審査員は、女流画家協会委員、独立美術協会会員の福島瑞穂先生をお迎えした。その審査評を紹介する。

レベルの高いものと低いものの差がはっきりしていたように感じた。ただ、入選しなかった作品の中にも面白い方向へ進みそうなものはあった。

抽象であろうと具象であろうと、メンタルなものが最も大切だと考える。デッサンのうまさでなく、何が描きたいか、描くことに必然性をもつことが要求される。また、作品が現代性をもっていることも大切だ。

審査時には年齢が分からなかったが、若い人は、技術的に達者でなくても描く必然性を感じる絵は、できれば採用したかった。

四国放送社長賞の大西道夫「円のある構成4」は、空間の観念が新しく、完成度が高い。具象の目から見ても良くできている。空間は自然にはないテレビ画面のような不思議さがある。作品に自分の宇宙、空間意識を持つ大切さを教えられる。抽象は今、下火なので、これを機会に元気を出してほしいと思う。

特選の新居千尋「宙1」は色が素晴らしい。大きな画面に、無定形でありながら構成できるのは力量があるから。ただチョークのような線はないほうがいいと思う。もっとそぎ落としてほしい。

もう一つの特選、尾田稔子「湧」は、現代的な空間を感じる作品。このような作品は最近出始めているが、一番初めに出していればすごかった。和紙を使うのもフランスを中心に世界的に流行している。

地方でやっているると作風が小さくまとまってしまう恐れがあるが、作品の大きさを制限しない審査が助けになっている。この特徴的な方法を続ければ、若い人が伸びてくると思う。

◎第12回放美展（5月1日（木）～5日（月） 県郷土文化会館）

洋画部門の応募者数は138人、点数は178点である。入賞・入選は80点で例年のことな

がら厳選となった。壁面の都合で展示されなかった選外作品も遜色のないもので、不運としかいいようがない。全体的に意欲的な作品が多く、表現も多様で、技術的な面でもレベルアップしている。受賞作品の審査評を紹介する。

放美賞の田中シゲミ「椅子による少女」は優れたデッサン力で人物を的確に表現。空間処理も巧みで、のびやかな作品になっている。

優秀賞の岸本花子「浜辺の船」は引き揚げられた船を手前に配し、手堅い構成で成功している。結城栄子「tomorrow」は、内面的なテーマを追求して並々ならぬセンスを感じさせる。木下和江「鳩とピエロ1」は、テーマのもつ詩情を個性的に表現して出色。大西文代「バス停」は、日常的で平凡な情景を温かいまなざしでとらえ、率直な表現と色調が魅力。野上恵子「楽屋にて」は、さりげない一瞬逃さず画面に取り入れた力量はさすが。南清子「繕う」は漁場の生活情景を誠実に描写して色感も健康的。青木幸子「ハスの詩Ⅱ」は、ハスに心を重ねたりリカルな色調と表現が魅力だった。

◎第18回洋画部会員展（5月22日（木）～25日（日） 県郷土文化会館）

出品総数110点、各作品とも力作ぞろいで見応えのある展覧会となった。会員相互の研究・交流の場としてこの展覧会がさらに充実したものになるよう会員各位のご協力を切にお願いしたい。

◎平成15年度洋画部絵画講習会（9月7日（日） 鴨島町文化研修センター）

鴨島町教育委員会と鴨島町文化協会のご協力のもと、再開された絵画講習会は本年度で5回目の開催となった。受講者、関係者を合わせ、約70人の大規模な講習会で、3人の人物をモデルに、クロッキー、水彩画、油彩画など熱心に取り組んだ。例年どおり3グループに分かれ、グループごとに洋画部の委員が指導にあたった。各グループからそれぞれ3人の委員が感想を述べ、佐野会長から制作についての実践的な講話と一人一人に対して丁寧な作品評があり、盛会裏に終了した。

会員消息

（◎新会員 △住所変更 県展・放美展関係は除く）

- 青木 幸子 洋画部会員展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）
- 浅山 久子 八紅展（阿波銀プラザ）
- 阿部 昌子 土曜展・青美展・全国健康福祉祭徳島大会美術展（郷文）
- 伊勢 浩章 洋画部会員展・徳島平和美術展（郷文）、徳島アート21（阿波銀プラザ）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 乾 繁春 第63回美術文化展：会員出品（東京都立美術館）、第63回関西美術文化展（大阪市立美術館）、美術文化四国支部展（善通寺市立美術館）、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）、世代美術展（徳島市シビックセンター）

- 岩谷 明 洋画部会員展・青美展・徳島平和美術展・ふるさとを描き遺す会展（郷文）、つくし会展（ヨンデンプラザ徳島）
- 宇高 桂子 第57回女流画家協会展（東京都美術館）、洋画部会員展・第92回徳島県女流美術家協会展・中央展出品者絵画展（郷文）、宇高桂子個展・女子美術大学同窓会展Ⅲ（阿波銀プラザ）
- 大西利津子 徳島市芸術祭美術展（徳島市シビックセンター）
- 大野 文雄 青彩美術展（徳島市シビックセンター）、第19回サークルふれあい祭り展（徳島市中央公民館）
- 岡 多美子 徳島市芸術祭美術展：審査員（徳島市シビックセンター）、洋画部会員展・第92回女流美術家協会展・仙台徳島文化交流展（郷文）、新象展（東京都美術館）、スウェーデン世界平和美術展（ストックホルム）、中日文化交流展（上海美術館）、フランスロワイアン文化交流名誉市民、(財) 県人形浄瑠璃振興会監事
- 岡田 君代 洋画部会員展・徳島平和美術展・青美展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 岡田 守 洋画部会員展（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）
- 尾形 正二 第63回美術文化展（東京都立美術館）、美術文化四国支部展（善通寺市立美術館）、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 賀木 道子 第69回旺玄会展（東京都美術館）、旺玄会大阪巡回展（大阪市立美術館）、洋画部会員展（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）
- 柏木 雅雄 洋画部会員展（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）
- 河本多恵子 徳島市芸術祭美術展（徳島市シビックセンター）、徳島新聞カルチャー展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、国府文化祭（国府コミュニティセンター）
- 岸本 花子 洋画部会員展・徳島新聞カルチャー展（郷文）、徳島市芸術祭美術展（徳島市シビックセンター）、八紅展（阿波銀プラザ）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）、徳島県秀作巡回美術展（県内）
- 木谷 弘 第63回美術文化展（東京都立美術館）、美術文化新人選抜展（東京・銀座）、第63回関西美術文化展（大阪市立美術館）、美術文化四国支部展（善通寺市立美術館）、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）、世代美術展（徳島市シビックセンター）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 楠瀬 等 洋画部会員展（郷文）

- 黒崎 志郎 第56回示現会展・第91回日本水彩展（東京都美術館）、第34回示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展（郷文）
- 後藤ユリ子 第63回美術文化展（東京都立美術館）、第63回関西美術文化展（大阪市立美術館）、美術文化四国支部展（善通寺市立美術館）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展（郷文）
- 後藤田仁一 第63回美術文化展（東京都立美術館）、第63回関西美術文化展（大阪市立美術館）、美術文化四国支部展（善通寺市立美術館）、美術文化の14人展（東京銀座アートギャラリー）、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）、後藤田仁一ガラス絵展（M&M）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）
- 斎藤 靖子 日本板画院展（東京都美術館）、洋画部会員展・第92回徳島県女流美術家協会展・同小品展・絵で見る徳島展・中央展出品者絵画展（郷文）、日中美術作品交流展（中国）、2人展（ギャラリーホレスト）、徳島版画の会展（徳島市シビックセンター）、悠美展（ヨンデンプラザ徳島）
- 佐々木 超 洋画部会員展・ふるさとを描き遺す会展（郷文）、徳島市芸術祭美術展：無鑑査出品（徳島市シビックセンター）
- 佐野比呂志 第40回関西独立展：無鑑査出品（大阪市立美術館）、洋画部会員展（郷文）、徳島市芸術祭美術展：審査員出品・世代美術展（徳島市シビックセンター）、徳島アート21：賛助出品（阿波銀プラザ）
- 島田美奈子 洋画部会員展・徳島新聞カルチャー展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 清水 亟煥 洋画部会員展（郷文）、第34回清水亟煥個展（徳島そごう）
- 鈴江 栄治 フランス在中
- 鈴江美代子 洋画部会員展（郷文）
- 曾我部秀子 洋画部会員展（郷文）、徳島市芸術祭美術展（徳島市シビックセンター）、八紅展（阿波銀プラザ）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）、上八万しらさぎ台文化祭（しらさぎ台町づくり活動センター）
- 田岡 荘二 洋画部会員展（郷文）、徳島中央公民館展（徳島市中央公民館）
- 田中 康子 洋画部会員展（郷文）、徳島市芸術祭美術展（徳島市シビックセンター）、八紅展（阿波銀プラザ）
- 玉田 秀子 洋画部会員展・徳島新聞カルチャー展（郷文）、徳島市芸術祭美術展（徳島市シビックセンター）、徳島アート21・八紅展（阿波銀プラザ）、つくしの会・波の会合同絵画展（阿南市文化会館）

- 辻野 正廣 洋画部会員展（郷文）、青彩美術展（徳島市シビックセンター）
- 露口 敏幸 洋画部会員展（郷文）
- 永井 郁枝 東光会展（東京都立美術館）、東光会徳島支部展・中央展出品者絵画展・洋画部会員展（郷文）
- 長尾 弘久 洋画部会員展（郷文）、徳島アート21（阿波銀プラザ）、徳島版画の会展（徳島市シビックセンター）
- 中村 晴代 青彩美術展（徳島市シビックセンター）
- 中山 清一 第63回美術文化展（東京都立美術館）、第63回関西美術文化展（大阪市立美術館）、美術文化展（愛知美術館）、美術文化展（京都美術館）、美術文化展（高知プラザかるぽ）、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）、徳島市芸術祭美術展（徳島市シビックセンター）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展（郷文）
- 長野 満子 洋画部会員展・ふるさとを描き遺す会展・画展ふるさと展（郷文）、21世紀に遺したい徳島企画展（徳島城博物館）
- 永山 隆二 洋画部会員展（郷文）、徳島市芸術祭美術展：審査員出品・世代美術展（徳島市シビックセンター）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 南城ミツ子 東光会展：会員出品（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部展・中央展出品者絵画展（郷文）
- 仁木 幸子 洋画部会員展（郷文）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 西川 周三 洋画部会員展（郷文）、徳島アート21（阿波銀プラザ）
- 西川 敬子 洋画部会員展・徳島平和美術展・第92回徳島県女流美術家協会展（郷文）、徳島アート21（阿波銀プラザ）
- 林 康太郎 第63回美術文化展（東京都立美術館）、第63回関西美術文化展（大阪市立美術館）、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展（郷文）
- ◎平田スミコ 新入会員、洋画部会員展（郷文）、徳島版画の会展（徳島市シビックセンター）
- 平木 美鶴 個展（阿波和紙会館）、二紀展・日本版画協会展（東京都美術館）、日本・ブルガリア国際版画展（京都市美術館・徳島県近代美術館）、日本アートアカデミー賞展：審査員特別賞（全国5ヶ所巡回）
- 福富 正二 洋画部会員展（郷文）
- 藤崎 恭子 洋画部会員展（郷文）、二人展（ギャラリー喫茶グレイス）
- 榊田 務 洋画部会員展・東光会徳島支部展・四国大学教員展（郷文）、芳藍展（阿

波銀プラザ)

- 馬淵 博子 新入会員、洋画部会員展（郷文）、アトリエバク展（阿波銀プラザ）
- 三谷ミヤ子 洋画部会員展（郷文）、徳島市芸術祭美術展：招待出品、徳島版画の会展（徳島市シビックセンター）、八紅展（阿波銀プラザ）、東富田文化展（東富田コミュニティセンター）
- 峯 幸子 洋画部会員展・第92回徳島県女流美術家協会展（郷文）、むアート展（阿波銀プラザ）、このごろの想い（カフェグリグリ）、スケッチ展（ギャラリーー喫茶グレイス）
- 山口 和子 青彩美術展（徳島市シビックセンター）
- 山田 越子 洋画部会員展（郷文）
- 吉田収二郎 第69回旺玄展（東京都立美術館）、中央展出品者絵画展・ふるさとを描き遺す会展・画展ふるさと展（郷文）、第7回旺美展東四国支部展（阿波銀プラザ）
- 大西 文代 青彩美術展（徳島市シビックセンター）
- 尾崎 素子 東光会展（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部展（郷文）、鳴門市展（鳴門市体育館）、白鳳洋画グループ展（鳴門市立図書館）
- 河野 公子 第63回関西美術文化展（大阪市立美術館）、洋画部会員展・徳島平和美術展・青美展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）、鳴門市展（鳴門市体育館）
- 鈴木 明雄 洋画部会員展・青美展（郷文）、土曜展・徳島版画の会展（徳島市シビックセンター）、水彩画個展（ドクターエンドー鳴門）
- 田中シゲミ 洋画部会員展・徳島新聞カルチャー展（郷文）、徳島市芸術祭美術展（徳島市シビックセンター）、大麻町文化展（大麻町公民館）、徳島県秀作巡回美術展（県内）
- 田淵 浜子 東光展：会友出品（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部展・中央展出品者絵画展（郷文）、徳島県秀作巡回美術展（県内）
- 林 信夫 洋画部会員展（郷文）
- 大西 道夫 第53回モダンアート展（東京都立美術館）、モダンアート京都展（京都市美術館）、モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）、道草展（喫茶やまなみ）
- 加賀谷愛美 新入会員
- 佐藤 敬子 現展（東京都立美術館）、洋画部会員展・青美展・中央展出品者絵画展・鴨島美術グループ展（郷文）

- 関 政明 洋画部会員展（郷文）、小松島市展 春・秋（小松島市中央公民館）、個展（阿波海南文化村）
- 福本 武子 東光会展：会友出品（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部展・中央展出品者絵画展（郷文）
- 福良 哲子 洋画部会員展・徳島新聞カルチャー展（郷文）、徳島市芸術祭美術展：招待出品（徳島市シビックセンター）、八紅展（阿波銀プラザ）、加茂谷文化祭（加茂谷公民館）
- 井沢 忠昭 洋画部会員展（郷文）、青彩美術展（徳島市シビックセンター）、加茂谷文化展（加茂谷公民館）、阿南市展（阿南夢ホール）、全理展（東京・新宿）
- 中辻奈美枝 洋画部会員展・県文化協会フェア展（郷文）、波の会・つくしの会合同絵画展（阿南市文化会館）、徳島アート21（阿波銀プラザ）
- 東 紀美子 洋画部会員展（郷文）、徳島アート21（阿波銀プラザ）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）、波の会・つくしの会合同絵画展（阿南市文化会館）
- 住友 義彦 洋画部会員展（郷文）、羽ノ浦町文化祭（羽ノ浦町体育館）
- 米田 薫子 那賀川町文化祭（那賀川町科学センター）
- 武市善次郎 洋画部会員展・青美展・徳島平和美術展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 天田 弘之 第53回モダンアート展（東京都立美術館）、モダンアート京都展（京都市美術館）、モダンアート明日への展望2003（横浜市民ギャラリー）、洋画部会員展・燎4人展・石井美術の会展（郷文）
- 野村 雅子 洋画部会員展（郷文）、徳島アート21（阿波銀プラザ）、つくしの会・波の会合同絵画展（阿南市文化会館）
- 松川 寛 第53回モダンアート展（東京都立美術館）、モダンアート京都展覧（京都市美術館）、モダンアート北九州展（北九州市美術館）、モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展・燎4人展・徳島平和美術展（郷文）
- 水間 利生 第63回美術文化展（東京都立美術館）、第63回関西美術文化展（大阪市立美術館）、美術文化四国支部展（善通寺市立美術館）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）
- 宮本 幸江 東光会展：会員出品（東京都立美術館）、東光会徳島支部展・中央展出品者絵画展・第92回徳島県女流美術家協会展・石井美術の会展・洋画部会員展（郷文）
- 毛利 谷子 東光会展（東京都立美術館）、東光会徳島支部展・第92回徳島県女流美術

- 家協会展・徳島仙台文化交流展・洋画部会員展・石井美術の会展（郷文）
- 大塚 政孜 洋画部会員展（郷文）、第5回鴨島・市場・阿波町絵画交流展（三町）、市場町文化協会総合作品展・市場町文化祭（市場町コミュニティセンター）
- 唐渡 覚 洋画部会員展（郷文）、第5回鴨島・市場・阿波町絵画交流展（三町）、市場町文化協会総合作品展・第22回市場町文化祭（市場町コミュニティセンター）
- ◎藤原 康夫 新入会員
- 吉田 実 第56回示現会展（東京都立美術館）、第34回示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、鴨島美術グループ展・示現会巡回展（郷文）、第5回鴨島・市場・阿波町絵画交流展（三町）
- 越久 高照 洋画部会員展・青美展（郷文）、徳島市芸術祭美術展（徳島市シビックセンター）、藍美展（藍住町福祉センター）、国民文化祭やまがた2003（山形県立美術館）
- 片山 富市 第69回旺玄会展：会友出品（東京都美術館）、旺玄会大阪巡回展（大阪市立美術館）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展（郷文）、第7回旺美展東四国支部展（阿波銀プラザ）、第9回上板町美術愛好会作品展（上板町技の館）
- 二條 均 洋画部会員展・徳島平和美術展（郷文）、板野美術クラブ展（板野町文化の館）
- 藤井 香世 第63回関西美術文化展（大阪市立美術館）、洋画部会員展・徳島平和美術展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 堀切 蔦子 青彩美術展（徳島市シビックセンター）、藍美展（藍住町福祉センター）
- 三沢 尚子 関西水彩画展（大阪市立美術館）、洋画部会員展・第92回徳島県女流美術家協会展・燎4人展（郷文）、それいゆ水彩画展・ペアーレ水彩画展（阿波銀プラザ）
- 三好 初子 東光会展：会員出品（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部展・中央展出品者絵画展・第92回徳島県女流美術家協会展・徳島仙台文化交流展（郷文）
- ◎伊原 妙子 新入会員、洋画部会員展・青美展・鴨島美術グループ展・（郷文）、第5回鴨島・市場・阿波町絵画交流展（三町）
- 岡田 光男 鴨島美術グループ展・青美展（郷文）
- 岡本 征二 洋画部会員展・土曜展（郷文）、徳島アート21（阿波銀プラザ）、第5回鴨島・市場・阿波町絵画交流展（三町）、鴨島町文化協会総合美術展（鴨島

町文化研修センター)

- 河田 安市 第35回日展：会友・入選、第79回白日会展：会員出品（東京都立美術館）、白日会地方展・中央展出品者絵画展・洋画部会員展（郷文）
- 島上 二郎 東光会展（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部展（郷文）
- 下時治郎秀臣 第79回白日会展：会員出品・第35回日展（東京都立美術館）、白日会巡回展（愛知、鹿児島、大阪）、現代洋画秀作展（大阪・梅田画廊・青少年センター）、かけがえのない現象展（東京・日本橋三越画廊）、かけがえのない現象展選抜展（大阪・近鉄アベノ）、鴨島美術グループ展（郷文）
- 志摩 政照 洋画部会員展・鴨島美術グループ展（郷文）、第5回鴨島・市場・阿波町絵画交流展（三町）
- 鈴木 敬子 洋画部会員展・M展・鴨島美術グループ展（郷文）
- ◎日出美佐江 新入会員、徳島新聞カルチャー展（郷文）
- 真野 孝彦 洋画部会員展・青美展・鴨島美術グループ展（郷文）、スケッチ2人展（喫茶グレイス）、第5回鴨島・市場・阿波町絵画交流展（三町）
- ◎三木 洋子 新入会員
- 村本恵美子 洋画部会員展（郷文）、試行展（阿波銀プラザ）
- 結城 栄子 関西国展（京都市美術館）
- 湯岑エミ子 ふれあい祭り出品（鴨島町知江島小学校）
- 小笠 正明 洋画部会員展（郷文）
- 川田 績 洋画部会員展（郷文）
- 喜多 直彦 洋画部会員展（郷文）、脇町文化祭（マルナカ脇町店）
- 近藤 克子 洋画部会員展、ふるさとを描き遺す会展、東光会徳島支部展（郷文）、試行展（阿波銀プラザ）、脇町文化祭（うだつアリーナ）
- 鳥川 君子 東光会展：会員出品（東京都立美術館）、東光会徳島支部展・洋画部会員展・中央展出品者絵画展（郷文）、脇町文化祭（脇町体育館）
- 武田 洋子 洋画部会員展（郷文）、第2回輪の会展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、三加茂まつり協賛出品、三好郡教職員春風展（たばこ資料館）
- 藤本 晴子 二科展（東京都立美術館）、洋画部会員展（郷文）、試行展（阿波銀プラザ）、脇町文化祭（うだつアリーナ）、日豪芸術交流展（パース市）
- 真鍋 弘子 洋画部会員展（郷文）
- 三谷多美子 第79回白日会展（東京都美術館）、洋画部会員展（郷文）、試行展（阿波銀プラザ）、貞光町文化祭（貞光町ゆうゆう館）、脇町文化祭（うだつアリーナ）

ナ)

- 小笠原秋子 洋画部会員展（郷文）、第2回輪の会展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、三好郡教職員春風展（たばこ資料館）
- 金岡 義和 現代童画会展：会員推挙（東京都立美術館）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展（郷文）
- 川原 真琴 洋画部会員展（郷文）
- 川原 禮子 洋画部会員展（郷文）、徳島アート21（阿波銀プラザ）、第2回輪の会展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品
- 木下 和江 洋画部会員展（郷文）、徳島アート21（阿波銀プラザ）、第2回輪の会展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品
- 為実美恵子 洋画部会員展（郷文）、第2回輪の会展（ヨンデンプラザ池田）、なでしこまつり（井川町中央公民館）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品
- 藤埜 理 創元会展（東京都美術館）、洋画部会員展（郷文）
- 藤丸 家栄 洋画部会員展（郷文）、徳島アート21（阿波銀プラザ）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品
- 山口美千代 洋画部会員展・青美展（郷文）

会員の訃報

騎馬政美氏が平成15年3月ご逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

写 真 部

部 会 長 櫛 淵 魏

年間展望

◎第58回県美術展（第1期11月8日～16日 県郷土文化会館）

今回展の応募総数922点、出品者数300人で何れも前回展を上回った。その中から入賞・入選153点が選出された。審査員には九州産業大学院教授で、日本の写真界の第一人者である江成常夫先生をお迎えした。審査結果は特選4点、準特選8点、奨励賞8点、入選133点が選出された。審査終了後に入賞作品を個々に講評いただいた。総評は「全体的に被写体に寄りかかった作品が多かった。華やかな阿波おどりや歴史的芸能に焦点を当てるのは、ごく自然なことだが、視覚的に強い被写体に立ち向かうには、それだけのエネルギーが必要になる。美しいものを美しく写すだけでは作品は成立しない。写真を撮ることは被写体を通じて自分の心を投影すること。ごくありふれた日常の中にテーマやモチーフは沢山あるということに目を向けて新しい作品を切り開いて欲しい」と示唆に富んだ言葉をいただいた。

| | | |
|-----|--------|-------|
| 特 選 | 「散華」 | 井上 翔 |
| 〃 | 「刹那」 | 佐藤 考利 |
| 〃 | 「天上の神」 | 久保 英樹 |
| 〃 | 「残暑」 | 堀口 幸男 |

準特選 矢部 弘子・大和 健司・武林 恭史・岩崎 英昭
鴻野 孝・櫛淵 紳哉・佐治 孝・松田みゆき

開展前日の11月7日午後6時よりホテルクレメント徳島で表彰式とオープニングパーティーが華々しく挙行された。

◎第12回放美展（5月1日～5日 県郷土文化会館）

応募総数519点、出品人数214人で出品点数は少々ではあるが増加、出品者は前年と同数であった。審査員としては武内亨、井上光雄、安長剛が担当した。

放美賞 正見晃章

優秀賞 川真田慶治・西野倫子・岡村 清・板東敏晴・溝淵寛治
山中利治・近藤恵子・河田 清・辻 絹子・久保英樹
漆原はつ子・久積 豊・土橋成行・柳川信子・下山久男
渡邊信二・石川徹雄・小林保子・佐々木敏幸・野口道子
梅本貞範

◎第3回徳島県美術家協会選抜展（1月24日～26日 県郷土文化会館）

県文化協会フェアとして開催されたが写真部から次の10人が出品した。

藤井 梵・古井謙吉・堀口幸男・三木晴夫・森住 博
安長 剛・荒井 賢治・井上憲治・井藤光章・川真田慶治

◎平成15年度徳島県秀作巡回美術展（10月～12月 県内4会場）

県文化祭行事の一環として開催されたが写真部から次の4人が出品した。

藤井 梵・酒井博司・武内 亨・増田 壽

◎三好和義写真展「ニライカナイ神の住む楽園・沖縄」（5月16日～6月1日 県立21世紀館）

三好和義氏が中学2年のとき一人旅で訪れて以来追い求めている「楽園」の原点・沖縄を舞台にした作品80点が展示された。

◎第7回忌記念 福島正仁遺作写真展（7月17日～21日 阿波銀プラザ）

今年が故福島正仁先生の七回忌にあたり、福島先生のご長男で万福寺住職福島誠浄氏の主催で所蔵の遺作のうち代表作150点を展示して開催された。その深い精神性をたたえた作品の数々が県下写真人に大きな感銘を与えた。会期中の7月19日には阿波観光ホテルにおいて、先生を偲ぶ有志150人が集い遺作展の開催を祝った。

◎県美協 写真部撮影会（6月22日）

本年度の撮影会を「花紀行大和撮影会・石仏とあじさい矢田寺撮影会」と銘打って募集したところ、参加者が60人となりバス一台の予定が二台に増やして徳島駅前を朝7時に出発、10時前に矢田寺に到着する。一面のあじさいの花を前に撮影にかかるや、ときどき小雨もあり最高の撮影シーンとなり、寺周辺にシャッターの音がこだました。昼食後西の京薬師寺へ廻り、予定どおり午後7時に全員無事帰着した。撮影会の開催にあたっては、三木晴夫、森住博、古井謙吉、上野照文、井藤光章、林敏彦、井上憲治の各委員に実行の労をとっていただいた。

会員の訃報

長年写真部委員として尽力いただいた川上駿人氏が12月6日逝去されました。享年65歳。心からご冥福をお祈り申し上げます。

各分野での会員の活動状況 ～中央展・個展・団体展など～

◎荒井賢治氏が写真集「風そよぐ～平家徳島落人伝説～」の上梓で第27回徳島県出版文化賞特別賞を受賞（3月12日）

◎第37回日本光画会写真展（1月11日～13日 徳島市シビックセンター）

会 員 出 品：酒井 博司

会 友 出 品：久保 英樹（広島市長賞）

清水 定七・川真田慶治・佐藤 義雄

◎第28回 J P S（日本写真家協会）展（5月 東京都美術館）

会 員 出 品：荒井 賢治

◎第51回二科会写真部展（9月1日～15日 東京都美術館）

会 友 出 品：荒井 賢治・森住 博

公 募 入 選：安部 幸子・国見 良幸・西野 倫子・西條 征二・板東 敏晴

平野 史子・佐々木敏幸・梅本 貞範

◎第88回研展（10月4日～14日 東京都美術館）

会 員 出 品：酒井 博司

公 募 入 選：上杉 大一・佐藤 義雄・船越 正文・吉村 敏嗣

◎第50回阿波踊り写真コンクール（10月19日～26日 徳島市阿波踊り会館）

特 選：佐藤 考利

準 特 選：佐野 辰夫・岡村 清

入 選：野藤みきよ・武林 恭史・中川 定典・柳本 正・富加見美枝

岸田 義市・原井 裕夫

◎第10回朝日四国写真展（11月9日 高松市で審査、徳島巡回展は平成16年2月徳島市シビックセンター）

徳島県知事賞：谷 賢太郎

特 選：上杉 大一・西條 征二

入 選：井上 憲治・佐治 孝・森 賢一・森住 博・井藤 光章

◎第18回全日本写真連盟県本部展（1月31日～2月2日 徳島市シビックセンター）

県 委 員 長：井藤 光章

出 品 者：川真田慶治・久我 千鶴・橋淵 魏・西條 征二・酒井 博司

佐治 孝・佐藤 考利・清水 定七・武林 恭史・田中喜久夫

根ヶ山 治・根ヶ山美江・野藤 敏美・野藤みきよ・橋本 圭祐

林 敏彦・姫田 慎治・古井 謙吉・堀口 幸男・三木 晴夫

三木 理司・溝淵 寛治・森 賢一・森住 博・大和 健司

柳川 信子・吉田 弘・吉村 敏嗣・阿部 啓三・荒井 賢治

粟田ふさえ・井藤 光章・井上 憲治・井上 光雄・上杉 大一

上野 照文・潮 満寿子・梅本 貞範・大津 勝治

◎第34回ナルトびんぼけクラブ写真展（2月14日～16日 鳴門市山高ギャラリー）

会 長：川上たかと

出 品 者：川上たかと・木田 英之・板東 敏晴

◎第3回ユニットDデジタル写真展（2月28日～3月2日 徳島市シビックセンター）

代 表：上野 照文

出 品 者：上野 照文・橋本 圭祐・林 敏彦・井上 憲治・多川 静守
多田 晴美・上杉 大一・柳本 正

◎第6回麻植写友クラブ展（3月2日～29日 キタムラ鴨島店ギャラリー）

会 長：佐野 辰夫

◎徳島風景写真協会「自然の四季風景写真展」（4月16日～21日 徳島市シビックセンター）

会 長：大貝 久義

◎第20回サンカ会写真作品展（4月23日～25日 徳島市シビックセンター）

主 催：四国税理士会徳島県連写真同好会

出 品 者：内田 忠秋・田中 伸廣・森内 昭男

◎「MY SCENE」上野照文作品展（5月2日～5日 徳島市シビックセンター）

上野照文のデジタルカメラによる写真作品の個展

◎リアリズム徳島・写真展（5月17日～19日 徳島市シビックセンター）

出 品 者：木田 英之・藤井 梵

◎森住博写真展「旅のスケッチ」（5月23日～25日 ヨンデンプラザ徳島）

森住博の海外撮影旅行による近年の代表作による個展

5月23日には二科会会友推挙の祝賀も兼ねて、オープニングパーティーが阿波観光ホテルで県下の文化人、写真人150人が集い催された。

◎第4回ニコールクラブ徳島支部写真展（6月7日～9日 徳島市シビックセンター）

支 部 長：櫛渕 魏

出 品 者：井藤 光章・川真田慶治・櫛渕 魏・西條 征二・酒井 博司
清水 定七・武林 恭史・田中喜久夫・中川 定典・野藤 敏美
野藤みきよ・藤田 卓嗣・古井 謙吉・堀口 幸男・三木 晴夫
三木 理司・森 賢一

◎第21回写真集団「風」作品展（6月7日～9日 徳島市シビックセンター）

会 長：安長 剛

出 品 者：小林 保子・堀口 幸男・安長 剛

◎第9回徳島ライカクラブ写真展（6月10日～12日 ヨンデンプラザ徳島）

会 長：武内 亨

出 品 者：武内 亨・藤井 梵・後藤 能大

◎第26回写真同人「炎」作品展（6月14日～16日 徳島市シビックセンター）

代 表：西條 征二

出 品 者：荒井 賢治・井藤 光章・井上 憲治・川真田慶治・櫛淵 魏
久保 英樹・後藤 和美・西條 征二・佐治 孝・佐藤 考利
武林 恭史・田村 泰弘・伊達 照子・土橋 成行・中川 定典
林 敏彦・古井 謙吉・森 賢一・大和 健司・吉崎 伝

◎第6回「写光」写真展（6月27日～29日 ヨンデンプラザ徳島）

出 品 者：安部 幸子

◎第11回徳島コンタックスクラブ写真展（7月4日～6日 ヨンデンプラザ徳島）

会 長：森住 博

出 品 者：赤木 昭子・荒井 賢治・梅本 貞範・大津 勝治・国見 良幸
西條 征二・佐々木敏幸・田中 伸廣・土橋 成行・根ヶ山 治
根ヶ山美江・板東 敏晴・平野 史子・藤田 卓嗣・前坂 祥文
宮本 幸治・向 儀一郎・正見 晃章・森 賢一・森内 昭男
森住 博・大和 健司

◎岡村清写真展（7月5日～7日 徳島市シビックセンター）

岡村清の人物をテーマに、心のこもった作品をつくりたいとの願いを込めた初の個展

◎第8回写一会写真展（7月11日～13日 ヨンデンプラザ徳島）

会 長：後藤 正巳

出 品 者：安部 幸子・潮 満寿子・三木 恭子・宮崎 行弘

◎第17回徳島花を写す会写真展（8月22日～24日 徳島市シビックセンター）

会 長：酒井 博司

出 品 者：久保 英樹・酒井 博司・佐藤 義雄・清水 定七・森 賢一
吉村 敏嗣

◎第6回写友吉野川写真展（9月6日～8日 徳島市シビックセンター）

会 長：岩崎 英昭

◎阿波踊り「徳島の熱い夏」原井裕夫写真展（9月12日～14日 徳島市シビックセンター）

東京銀座（6月）、大阪梅田（8月）のキャノンサロンにおける個展が好評であったので、徳島における凱旋展を開催

◎第43回写楽会写真展（9月26日～28日 徳島市シビックセンター）

会 長：櫛淵 魏

出 品 者：栗田ふさえ・上野 照文・川真田慶治・櫛淵 紳哉・櫛淵 魏
中川 定典・古井 謙吉

◎第2回キャノンクラブ徳島支部写真展（10月13日～16日 ヨンデンプラザ徳島）

出 品 者：柳川 信子

◎第7回鋭光会写真展（11月7日～10日 徳島市シビックセンター）

会 長：林 治郎

出 品 者：近藤 誠造・西條 征二・林 治郎・三木 晴夫・井上 光雄
木田 英之

彫 刻 部

部 会 長 松 永 勉

年間展望

◎第58回県美術展（平成15年11月8日～16日）

今年は審査員として石彫で活躍されている、二科会会員の菅原二郎先生にお願いした。出品総数21点、入賞入選作品は13点であった。総数で昨年より9点少なくなっており、彫刻を制作する作家が毎年減少していることに寂しさを感じた。制作場所とか道具の準備、搬入、搬出のことを考えると大変な作業ではあるのだが、立体造形の巾広い可能性のある彫刻にチャレンジしてほしいと思う。少ない出品数とはいえ年ごとに大形作品の力作が目立つし、その素材の多彩さ、技術の高さをともなった作品が彫刻会場を迫力ある雰囲気構成してくれたことには希望がもてた。審査評として「全体を通して具象・抽象作品とも力作が多かった。応募者は能力を出しきっていると思うが、多くの名作、名品を見て、自作との違いや差を感じてほしい。そして追いつき追い越す目標をもってもらいたい」と言われた。さらに「自分の力を100パーセント出しても満足せずもっと上を目指してほしい」とも話された。

特選（県知事賞）に選ばれた加藤美津子さんの“夏”は具象で等身大の裸婦像である。この作品については「会場で一番目についた。一般的に人体を上手に写してしまうのだが、この作品は人体を通してモデルの持つ命を表現しようとしている。ぴりっとしたものが作品の中を通っている。作品から作者のエネルギーが伝わってくる」と高い評価をいただいた。加藤さんは長年地道な制作に努力を重ねてきた結果の受賞であった。これを機に今後自信を持って新しい境地を開いてほしいと思う。

準特選の木村大志さんの作品“主”は石でオオサンショウウオを表現した作品で「ほほえましい作品。作者の試行錯誤した跡が残り心地良い。ユーモラスな面もあって、表現の稚拙なところがプラスになっている」との評を言われた。木村さんは2年続けての受賞であり、今後期待のできる若手作家である。同じ準特選の安藝淳二さんの“笹舟のヴィーナス”に対しては「笹船を木でおおらかに表している。大きさもよく素材の使い方も上手だ」と評された。独自の感性から自分の世界を表現しようとする姿が見られる作家である。今後新しい展開をしてほしい。奨励賞には最近意欲的に制作をしている上月佳代さんの“葬列行進曲”と佐久間大介さんの“ノゾムコト”が選ばれた。二人とも若い感性を上手に生かして制作している様子が伺える。

◎第12回放美展（平成15年4月29日～5月5日）

今回の応募数は23点で昨年とほぼ同じであった。素材として、木、石、金属、ガラス、テラコッタなど多様でそれぞれ特性を生かした作品が多かった。抽象より具象の作品が数では上回った。大形作品も増え会場が少し狭く感じるようになって来た。その中で受賞作はレベルの高い力作であった。

放美賞の東光司さんは3年続いての受賞となった。今回は“大地のかたち”と題して直方体を組み合わせ、中を彫り貫いた作品で審査員から「天空と大地を取り込み表現した夢のある作品」と評された。優秀賞には井上喜美さんの“椿”が選ばれた。この作品は「バランスのとれた等身大の人体像で作者の素直な気持ちを感じる」と評された。その他の作品では、惜しくも入賞にはならなかったが清水久美子さんの“座る女”や武田亜希子さんの“SPACE Plant”、伊丹レイ子さんのテラコッタの胸像“母”など秀作があった。全体的な感想として、アイデアや構成力は優れているのに技術があと一步工夫されるとかなり良くなるのではとの意見があった。今回の審査員は、井下俊作、佐藤隆、松永勉が務めた。

会員消息

（県展・放美展関係は除くは除く）

| | | | |
|-------|-----------|----------------------|---------------|
| 居上 真人 | 9月 | 第88回二科展：会友出品 | 東京都立美術館 |
| | 9月 | 第41回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島市中央公園 |
| | 10月 | 県秀作巡回美術展出品 | 県内4会場 |
| 井下 俊作 | 9月 | 第58回行動展：会員出品 | 東京都立美術館 |
| | 9月 | 第41回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島市中央公園 |
| | 9月 | 第58回行動展大阪巡回展：会員出品 | 大阪市立美術館 |
| 大津 文昭 | 10月 | 県秀作巡回美術展出品 | 県内4会場 |
| 河崎 良行 | 1月 | 彫刻「未来への道しるべ」設置 | 奈良県木秦原町 |
| | 2月 | 日本・ルーマニア交流展 | 東京芸術劇場ギャラリー |
| | 8月 | 第18回徳島二紀展 | 県立近代美術館 |
| | 10月 | 第57回二紀展 | 東京都立美術館 |
| | 10月 | 県秀作巡回美術展出品 | 県内4会場 |
| | 11月 | 二紀巡回展（名古屋） | 愛知県立美術館 |
| | 11月 | 二紀巡回展（京都） | 京都市立美術館 |
| 12月 | 二紀巡回展（大阪） | 大阪市立美術館 | |
| 鎌田 邦宏 | 4月 | 彫刻展2003（15人の二紀会員による） | 東京銀座ギャラリーームサン |
| | 8月 | 第18回二紀展 | 県立近代美術館 |

| | | | | |
|----|----|-----|---------------------|-------------------|
| | | 10月 | 第57回二紀展 | 東京都立美術館 |
| | | 11月 | 鎌田邦宏彫刻展 | 県立近代美術館 |
| 上月 | 佳代 | 3月 | 上月佳代彫刻展 | 東京ギャラリーオカベ |
| | | 8月 | 第18回徳島二紀 | 県立近代美術館 |
| | | 10月 | 第57回二紀展 | 東京都立美術館 |
| 佐藤 | 隆 | 9月 | 第41回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島市中央公園 |
| 濱口 | 恵 | 1月 | 第36回モダンアート徳島支部展 | 阿波銀プラザ |
| | | 4月 | 第53回モダンアート展 | 東京都美術館 |
| | | 8月 | アートネットアカデミー10周年記念展 | 岐阜市ギャラリーアリア |
| | | 11月 | 第41回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島市中央公園 |
| 松永 | 勉 | 3月 | 木屋平小学校校歌碑制作設置 | 美馬郡木屋平村 |
| | | 9月 | 第58回行動展：会員出品 | 東京都立美術館 |
| | | 9月 | 第41回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島市中央公園 |
| | | 9月 | マンション「アゲン」に“風景の環”設置 | 東京都港区麻布 |
| | | 10月 | 県秀作巡回美術展出品 | 県内4会場 |
| | | 10月 | 第58回行動展大阪巡回展：会員出品 | 大阪市立美術館 |
| 長岡 | 強 | 1月 | 第3回徳島県美術家協会選抜展 | 県郷土文化会館 |
| | | 3月 | 第79回白日展：会員出品 | 東京都立美術館 |
| | | 4月 | 第33回日彫展：会員出品 | 東京都立美術館 |
| | | 4月 | 彫刻展OWN MOVE | 東京南青山Artspace「瑠璃」 |
| | | 11月 | 第35回日展：特選受賞 | 東京都美術館 |

美術工芸部

部会長 山上 馨

年間展望

◎58回県美術展（11月8日～16日 県郷土文化会館）

平成15年（2003年）県美術展美術工芸部門の応募点数は175点、出品者は121人であった。審査会場は、前回展に比べて応募点数で37点増、出品者数で19人増と盛況であった。審査は厳正に各ジャンルからの賞候補から、入賞8点（特選2点、準特選3点、奨励賞3点）が選ばれ、入選97点と無鑑査出品13点を加えた総展示作品は118点となった。

今回の審査員は東京芸大教授の島田文雄先生にお願いした。審査評として「全国各地の県展で審査しているが、徳島のレベルは結構高い。徳島での審査は8年ぶり3回目で、しっかりした表現力を持った作品が多くなっていた。審査は、自分の意図することが表現できているか、さらに技術的な面でもクリアできているかをポイントにした。県議会議長賞の田村栄一郎「動」（陶芸）は堂々としていて力強いオブジェ。これだけの作品を作り上げるには、かなり土を知っていないとできない。特に口作りが上手で、シャープさとボリューム感がある。それによって大きな作品を自分の作りたい形にまとめている。～（中略）～徳島には大谷焼がある。若い人たちが創造的なものと、大谷焼の伝統的なものをミックスさせながら、新しい伝統を作ってほしい。特選の斎藤和彦「2003山の詩～飛翔」（彫金）は地味だが、自分の思いがしっかり表現されている。七宝焼も用いるなどいろいろな技術を駆使したレベルの高い作品だ。徳島の特徴はパッチワークが多いこと。盛んな創作活動の表れだろう。さらにガラスが数点出品されていたのも頼もしい。一方、藍の本場にもかかわらず藍染が少ないのは残念だった。藍染作家たちの奮起を期待したい。作品の中には、まだまだ表現力、技術面でつたないものもあった。いい作品を作るには自分の感性を高めることが大事。日ごろから、いいデザイン、いい形、いい作品を見て、自分の中に吸収し、作品を作っていけば伸びるはずだ。」と制作への取り組みを強調された。

審査方法は入選、落選を決め、20点程の賞候補を選び、賞を決定する方法をとった。最終入賞作品はいずれも主題が明確で、作者の意図を強く表現したものであった。

特選（県議会議長賞） 田村栄一郎（陶）「動」

〃 斎藤和彦（金工）「2003山の詩～飛翔」

準特選 綾野昌子（染）「花風」

| | |
|-----|-------------------------|
| 準特選 | 藤井 哲信 (ガラス) 「遥けき彼方」 |
| ゝ | 森 明治 (陶) 「窯変炎文様大皿」 |
| 奨励賞 | 国井 秋子 (パッチワーク) 「星のハミング」 |
| ゝ | 村上 栄一 (陶) 「布目目白文方壺」 |
| ゝ | 永山昭一郎 (陶) 「“波~15”」 |

◎第12回放美展 (5月1日~5日 県郷土文化会館)

第12回放美展美術工芸部門の応募点数は128点、応募者は88名であった。約7割が陶芸と大きく偏っているものの、少数ながら各ジャンルの作品が出揃い、全体的に落ち着いて重厚な作品が多く見られるようになった。審査は賞候補11点から放美賞1点と優秀賞5点選ばれ、入選は82点となった。展示は無審査出品7点を加え総展示数は95点となった。

放美賞の寒川治雄「袈裟文花器」は端正で完成されたフォルムに黒の上薬による緑文様を見事に調和させた秀作である。優秀賞の加藤伴江「青の対話」はガラス特有の繊細な色彩と重厚なフォルムの調和で見事に主題をとらえている。同じく藪内麻里子「冬の重み」は滝の水柱の白と断崖の茶色の色調で叙情性を感じる作品。従来殻を破った主題のとらえ方と大胆な画面構成でパッチワークの表現の可能性を拡げている。同じく清水美代子「深海に流れ」は藍の濃淡によるグラデーションと大胆な曲線構成で深海の情感を見事に表現した作品。高尚な感覚を感じる。同じく長尾重美「Ricerca II」はロクロによる端正なフォルムにリズムカルな緑文様を巧みに配した楽しい作品。上品な色調に魅力を感じる。同じく吉田陽子「春の風」は陶器のもつまるやかなフォルムと質感を生かした象嵌の緑・花文様がよく調和した女性的な雰囲気のある秀作。図柄の配置に個性と新鮮さを感じる。(審査員：高橋勇、犬伏絢、森明治)

今回は出品点数で前回展をやや下回ったが、全ジャンルでの質の向上が目立ち、落ち着いた雰囲気の中で、上品な造形感覚や、個性的で創造的な表現の工夫が目立つ展覧会になったようである。ベテラン作家の重厚さ、新人作家の新しい領域への表現の試みが多く見られたことは、今後の発展につながるものとして大いに期待できそうである。

| | |
|-----|------------------------|
| 放美賞 | 寒川 治雄 (陶) 「袈裟文花器」 |
| 優秀賞 | 加藤 伴江 (ガラス) 「青の対話」 |
| ゝ | 藪内麻里子 (パッチワーク) 「冬の重み」 |
| ゝ | 清水美代子 (パッチワーク) 「深海に流れ」 |
| ゝ | 長尾 重美 (陶) 「Ricerca II」 |
| ゝ | 吉田 陽子 (陶) 「春の風」 |

会員消息

(県展・放美展関係は除く)

| | | | |
|--------|----------------------|-----|--------------|
| 天野 和子 | ・ 四国40人キルト展 | 1月 | 高松：三越 |
| | ・ JQA一人一点キルト展 | 3月 | 広島：アステールプラザ |
| | ・ アトリエハウ・グループ展 | 7月 | 阿波銀プラザ |
| | ・ 平和のキルトコンテスト（福屋賞） | 9月 | 広島：福家デパート |
| | ・ デザイン・ドリーム展 | 10月 | 徳島市木工会館 |
| | ・ 第3回キルト作家7人展 | 10月 | 高松：天満屋 |
| | ・ 第1回徳島版画展 | 11月 | 徳島市シビックセンター |
| | ・ インターナショナルキルトコンテスト | 11月 | ヒューストン |
| 越 由子 | ・ U.S.Aワールドキルトコンテスト | 8月 | ミシガン州ランシング市 |
| 多智花佐代子 | ・ 第42回日本現代工芸美術展 | 3月 | 東京都立美術館 |
| | ・ 京都精華大学卒業生作品展 | 8月 | 徳島市シビックセンター |
| | ・ 第42回現代工芸四国会展 | 12月 | 高松：三越 |
| 九十九健二 | ・ 第74回第一美術展 | 5月 | 東京都立美術館 |
| 富田チエ子 | ・ 日本染織作家協会関西支部展 | 9月 | 高松：三越 |
| | ・ 染色すなご会30周年記念展 | 11月 | 牟礼町：石の民族資料館 |
| 永山昭一郎 | ・ 徳島陶芸会第26回創作陶芸展 | 6月 | 徳島市シビックセンター |
| | ・ 第9回正倫会陶芸展 | 10月 | ヨンデンプラザ徳島 |
| 新居 猛 | ・ 中国経済特区デザイン視察 | 2月 | 厦門 |
| | ・ 新居ビル「建物再発見」に紹介 | 3月 | 徳島新聞紙上 |
| | ・ 第31回徳島市芸術祭美術展美工審査 | 4月 | 徳島市シビックセンター |
| | ・ 「標準美術Ⅱ」に孟の誤字発見 | 4月 | 四国中学校美術教育連盟 |
| | ・ ホールディングチェア展 | 5月 | 武蔵野美術大学資料図書館 |
| | ・ いすのデザインに半生「生きる」掲載 | 5月 | 徳島新聞紙上 |
| | ・ ロングセラー・デザイン（日本の椅子） | 7月 | 平凡社：コロナブックス |
| | ・ 椅子の研究③（折り畳みは物流効率） | 8月 | ワールドフォトプレス |
| 西 浩子 | ・ 第92回徳島県女流美術家協会展 | | |
| | ・ 第32回仙台・徳島文化交流展 | 8月 | 県郷土文化会館 |
| | ・ 西浩子個展「花の織ザ」 | 11月 | 阿波銀プラザ |
| 野村 裕子 | ・ 四国キルトアーティスト40人展 | 1月 | 高松：三越 |
| | ・ ふう布パッチワークキルト展 | 11月 | 徳島市シビックセンター |
| 森 賢一 | ・ 第42回日本現代工芸美術展（会員賞） | 3月 | 東京都立美術館 |
| 山本 和子 | ・ 第14回徳島現代クラフト展 | 4月 | 県郷土文化会館 |

| | | | |
|-------|-----------------------|-----|---------------------------|
| | ・ 第4回全国阿波藍染織作家協会展 | 6月 | 福岡県立美術館 |
| 四十宮年代 | ・ 第31回徳島市芸術祭美術展（特別出品） | 4月 | 徳島市シビックセンター |
| | ・ 第38回中部染色作家展（会員推挙） | 7月 | 愛知県芸術文化センター |
| | ・ 2003年きもの絵師とその仲間達 | 9月 | 奈良市アートスペース |
| | ・ 第3回創る彩り展（個展） | 11月 | とよとみ珈琲店アートギャラリー |
| 田村 純子 | ・ 女子美術大学同窓会展Ⅲ | 5月 | 阿波銀プラザ |
| | ・ 第25回日本新工芸展 | 5月 | 上野の森美術館 |
| | ・ 大谷焼元山窯4人展 | 6月 | ギャラリーM&M |
| | ・ 日本新工芸四国会展 | 9月 | 高松：モリシゲ |
| | ・ 第35回日展 | 11月 | 東京都立美術館 |
| 田村 祐子 | ・ 徳島陶芸展 | 4月 | 県郷土文化会館 |
| | ・ 第15回工芸美術四国会展 | 5月 | 高松：三越 |
| | ・ 第13回日工会展 | 6月 | 横浜：高島屋 |
| | ・ 大谷焼元山窯4人展 | 6月 | ギャラリーM&M |
| | ・ 関西美術展 | 7月 | 大阪市立美術館 |
| | ・ 第92回徳島県女流美術家協会展 | | |
| | 第32回仙台・徳島文化交流展 | 8月 | 県郷土文化会館 |
| 矢野 款一 | ・ 矢野款一作陶展 | 4月 | 県郷土文化会館 |
| | ・ 抜苦阿羅漢展 | 6月 | 神戸：阪急 |
| | ・ 徳島県民表彰受賞 | 6月 | 徳島県庁 |
| | ・ 日本工芸会四国支部展 | 10月 | 高松：三越 |
| | ・ 阿羅漢と阿修羅展 | 11月 | 徳島そごう |
| 影谷美代子 | ・ 小松島市芸術祭染色展 | 11月 | 小松島港交流センター |
| 斎藤 和彦 | ・ 日本七宝作家協会展（協会賞） | 7月 | 上野の森美術館 |
| 小栗加代子 | ・ 四国のキルト40人展 | 1月 | 高松：三越 |
| | ・ 和のキルト100人展 | 2月 | 広島：福屋デパート |
| | ・ 名古屋キルトカーニバル | 2月 | 名古屋：丸栄百貨店 |
| | ・ 現代工芸展 | 2月 | 東京都立美術館 |
| | ・ 欧州キルトフェスティバル | 8月 | イギリス：パーミンガム コンベンションホール |
| | ・ 現代キルト作家展 | 10月 | 高松：天満屋デパート |
| | ・ インターナショナルキルトフェスティバル | 11月 | アメリカ：ヒューストン コンベンションホール |

| | | | |
|-------|----------------------------------|-----|-------------|
| | ・横浜キルトウィーク 講師展 | 11月 | パシュヒロ横浜大展示場 |
| | ・第42回現代工芸四国会展（奨励賞） | 12月 | 高松：三越 |
| 武田 美子 | ・日本和紙ちぎり絵協会設立10周年記念展 | 5月 | 上野の森美術館 |
| 松下 雄介 | ・新作陶芸展 | 6月 | 東京：日本橋三越本店 |
| | ・美術紀行「花のアフロディア ～ギリシャ・イタリア編」出版 | 11月 | 霞出版社（共著） |
| 丸居 哲雄 | ・エナジー2003 | 10月 | 県立文化の森21世紀館 |
| | ・上板町美術愛好会作品展 | 11月 | 上板町・技の館 |
| | ・上板町文化祭 | 11月 | 上板町・技の館 |

書 道 部

部 会 長 上 田 溪 水

年間展望

◎第58回県美術展（第2期 11月18日～25日 県郷土文化会館）

出品点数は818点（前年比63点減）、出品人数は572名（前年比49名減）であり、入賞・入選は計343点（入選率約42%）となり、やや減少した。1点出品者が31名減の330名で、2点出品者が21名減の239名、3点出品者が3名である。展示総数は特別出品・招待・無鑑査・賛助出品を加えた388点が全期間展示された。

◎第12回放美展（5月1日～5日 県郷土文化会館）

出品点数は165点（前回比26点減）で出品者数は159名（前回比22名減）となり、入賞・入選数は110点で、入選率は57%となった。展示総数は、役員・無鑑査を加えて120点である。出品数の増加と、さらに質の高い作品が期待される。

◎書道部選抜展（4月11日～13日 徳島県立文学書道館）

文学書道館の開館を記念して美協顧問1点、理事5点、部委員68点の計74点を特別展示室とギャラリーで選抜展を開催した。高度な表現力の大作が、新装の壁面に並び壮観であった。

◎社中展・個展等

| | | | |
|-----------------|-------------|--------|------|
| ○第23回書研社展 | 徳島市シビックセンター | 2月22日～ | 24日 |
| ○桂和会書展 | 徳島市シビックセンター | 3月14日～ | 16日 |
| ○第11回三美書展 | ヨンデンプラザ池田 | 3月28日～ | 30日 |
| ○第7回澄光会書展 | 県郷土文化会館 | 5月8日～ | 11日 |
| ○第18回正鋒会書展 | 徳島市シビックセンター | 5月10日～ | 12日 |
| ○第18回徳島県書道展 | 県郷土文化会館 | 5月31日～ | 6月8日 |
| ○第5回継ぎ色紙とかなの美展 | 文学書道館 | 6月6日～ | 8日 |
| ○第21回双愛書展 | 徳島市シビックセンター | 6月11日～ | 13日 |
| ○第3回光輪社女流書道50人展 | 文学書道館 | 6月20日～ | 22日 |
| ○第10回記念大耿会書展 | 県郷土文化会館 | 6月27日～ | 29日 |
| ○第16回長玄書道展 | 県郷土文化会館 | 7月19日～ | 21日 |
| ○第2回一心会展 | ヨンデンプラザ徳島 | 7月25日～ | 27日 |
| ○第7回墨友会書展 | ヨンデンプラザ池田 | 8月1日～ | 3日 |

| | | | |
|---------------------------|-------------|---------|-----|
| ○第33回直心会書展 | 県郷土文化会館 | 9月1日～ | 3日 |
| ○55周年記念第66回書芸院展 | 県郷土文化会館 | 9月4日～ | 7日 |
| ○第26回泉心書作展 (藤若美風書作展併催) | 県郷土文化会館 | 9月12日～ | 15日 |
| ○第32回雪心会書作展 | 県郷土文化会館 | 9月13日～ | 15日 |
| ○涪口素水書作展 | ヨンデンプラザ池田 | 10月11日～ | 13日 |
| ○第15回記念睦月会書展 | 徳島市シビックセンター | 10月18日～ | 20日 |
| ○第30回記念双暢会書展 | 文学書道館 | 11月5日～ | 9日 |
| ○第33回光輪社書作展 | 徳島市シビックセンター | 11月15日～ | 17日 |
| ○第8回尚真書展 | 阿波銀プラザ | 12月12日～ | 14日 |
| ○第7回せせらぎ書展 | 県郷土文化会館 | 12月21日～ | 23日 |

個人消息 (県展・放美展・社中展は除く)

役員で出品した人・入賞者

- 第44回太玄会書展 (東京都美術館 1/11～16)

役員 大櫛一峰・近藤静苑・春藤大耿・鈴木恵理・瀬藤豊子・竹田和代
田村昇鶴・富久鳴泉・中尾勝子・中谷史子・西谷香峰

太玄賞 亀石文苑

奨励賞 足立玉美・加藤香都子・小出圭子・辻 紅雪

新人賞 山本恵子

推薦 弘田長風・猪子弘美

準推薦 金子白雲・楠 佳静・春藤玉秀・福島由佳

特選 長居汀香

準特選 大胡真美・柏原智子・片山芳明・河上晃子・坂野祐煌・桜木京子
中西瑤汀・濱田茜香・細川真理・水谷絵美・三好啓子・米本由美子
山城飛暉

- 第57回日本書芸院2月展 (大阪市美術館 2/11～16)

4月展 (大阪市美術館 4/8～13)

役員展 (大阪国際会議場 4/22～27)

常務理事 勝瀬景流

評議員 東南光・伊丹東龍 (史邑賞)

一科審査員 東 弥生・上田溪水・薄田玲泉・隅田英二・高田青蓮・山口華城
吉田素川

二科審査員 阿部珠雪・宇山泰鳳・上田輝芳・川村春琴・河野真流・小松美佳
近藤聖邨・清水桂月・島田小園・豊浦春光・長江頌石・能仁華瑤
長谷美峰・鳩成青嶂・福永美泉・福家美鷗・藤村柳葉・古川秀蕙
松永翠月・美馬幾美賀・宮守崇流・向井京子・森 光翔・八木藍玉
米澤東籬

大 賞 宇山泰鳳・河野真流・清水桂月・米澤東籬

特 別 賞 青木東原・海原暁風・亀石文苑・倉本景雨・小西玉翠・小林青藤
駒田水洗・竹内虹舟・横田茜子

特 選 生田高清・稲木裕美・植村恭子・内田麻紀・遠藤恵泉・大西紅泉
藤尾櫟生・加村喜美子・皆谷芳穂・佐々木久子・谷 典子
辻 紅雲・永岡蔦恵・中西翠怜・松浦真知子・森西美也子
安原照代・若木聖章

○第39回創玄書道展（東京都美術館 3 / 7 ~ 12 産業プラザpio）

役員出品 荒井天鶴・荒井彭仙・永松春苑・佐原和清・高岡晃祥・大島溪石
浜 佳香・多田清芳・佐藤宗香・丸岡香貞・長原皋聖・玉城乾香
大西清葩

入 賞 岩本志豪・川下芳婉・坂尾竟成・安瀨靖慧・川人宏子・大石康正
丸田恵風・木田史香・濱田敏香・吉田佐知子・石井益美・三澤多美子
岩崎麻美・上田友紀・松岡皐玉・芦谷后子・犬伏靖江・森浦皐月
渡邊香婉・清水香裕・伊藤嬉香・佐藤燦香・玉城乾舞・桜間好佳

○第22回日本刻字展（東京都美術館 3 / 7 ~ 12）

役 員 横田素林

特 選 岡部杜石

委員長賞 田中昭峰

佳 作 田瀨南亭・貝塚劍山・福壽海陽

○第32回日本の書展（大阪国際会議場 3 / 26 ~ 29）

伊丹東龍・勝瀬景流・春藤大耿・薄田玲泉・東 南光・荒井彭仙・上田溪水
河野真流・川村春琴・清水桂月・武市鳴雲・多田清芳・玉城乾香・長江頌石
長原皋聖・能仁華瑤・古川秀蕙・松本深翠・宮守崇流・吉田素川

○第25回日本書道学院展（東京都立産業貿易センター 3 / 29 ~ 3 / 31）

役員出品 勝瀬景流・薄田玲泉・赤川景舟・上田輝舟・河野真流・倉本景雨
近藤俊流・竹内虹舟・宮守崇流

大 賞 森 光翔

準大賞 佐川菁流

奨励賞 山本景琴

特別賞 背川景玲

○関西創玄創立30周年記念展（京都文化博物館 5 / 1～4）

荒井天鶴・荒井彭仙・佐原和清・永松春苑・高岡晃祥・大島溪石・岩本志豪
玉城乾香・大西清葩

○第26回かな書展（東京・日本橋高島屋 5 / 28～6 / 2）

役員出品 藤若美風・松本清香・増田愛子・三浦富美代・河野静江・藤原育代

○第39回太玄会役員展（新宿センタービル朝日生命ギャラリー 5 / 29～6 / 3）

近藤静苑・中尾勝子・大櫛一峰・竹田和代・富久鳴泉・西宇明美・大塚秀峰
岡島順子・笠井宣江・岸田いち子・古郷弘江・下村清子・瀬藤豊子・中西甫子
西谷香峰・広島章子・由利里子・吉田美重子

○現代詩歌と書の世界展（東京セントラル美術館 6 / 3～8 函館美術館 9 / 30
～11 / 16）

玉城乾香

○第55回毎日書道展（東京都美術館 7 / 8～17 愛媛県美術館 8 / 19～24）

役員出品 荒井天鶴・荒井彭仙・永松春苑・佐原和清・浜佳香・多田清芳
佐藤宗香・玉城乾香・長原皋聖

秀作 野田満代・仁木志香・大西清葩・長原皋月・幸田清尚

○第20回産経国際書展（東京・池袋サンシャイン 7 / 26～8 / 3）

役員出品 讃岐泰泉・藤若美風・松本清香・増田愛子・三浦富美代・武市勝恵
藤原育代

奨励賞 河野静江

○第20回読売書法展（東京都美術館 8 / 13～19 高松市美術館10 / 23～26）

常任理事 勝瀬景流

理事 伊丹東龍・西岡五峰・薄田玲泉

幹事 東南光・東弥生・上田溪水・上田輝芳・宇山泰鳳
河野真流・亀石文苑・倉本景雨・近藤聖邨・清水桂月
春藤大耿・薄田玲泉・隅田英二・高田青蓮・竹内虹舟
長江頌石・新居藍州・能仁華瑤・長谷美峰・坂東準子
福家美鵬・古川秀蕙・宮守崇流・山口華城・吉田素川

読売新聞社賞 東南光

評議員 森光翔・山本景琴

俊 英 賞 宇山泰鳳・亀石文苑
奨 励 賞 佐川菁流・豊浦春光・向井京子
特 選 青木東原・赤川景舟・伊勢春瓊・皆谷芳穂・草刈明美
近藤俊流・竹田和代・辻 紅雲・松浦真知子・米澤東籬
秀 逸 大西紅泉・甲谷映紅・遠藤恵泉・湊 景桃・宮崎聖風
阿部星舟・柊木香雲・高島星流・遠藤玉流・背川景玲
松永翠月・馬居汀香・駒田水洗・加村喜美子・森西美也子

○第29回創玄現代書展（東京セントラル美術館 11／3～9）

岩本志豪

○第35回日展（東京都美術館 11／2～24）

依嘱出品 勝瀬景流

入 選 伊丹東龍・薄田玲泉・多田清芳

○第25回東京書作展（サンシャインシティ文化会館 11／25～30）

役 員 出 品 春藤大耿・中尾勝子・近藤静苑・小出圭子・瀬藤豊子
中野春江・山本恵子

特 別 賞 吉本道子

特別賞候補 馬居汀香・由利里子

優 秀 賞 鈴木恵理

佳 作 中西瑤汀

秀 逸 折上和美・春藤真紀・天羽陽舟・福井珠光

奨 励 賞 柏原智子・坂野裕煌・佐伯喜美子

会員の訃報

讃岐泰泉氏（県美術家協会副会長、書道部委員）が平成15年6月10日ご逝去されました。
ご功績を偲び謹んでご冥福をお祈りいたします。

デザイン部

部会長 坂本 三千一

年間展望

春頃だったかJAGDAから1～2年後に阿波踊り期間中に、全国総会を徳島で開けないかと徳島代表幹事に打診があった。阿波踊りという徳島の最大イベントの期間、総会会場、旅館、交通機関、踊りの手筈など、1000余人の受け入れをいろいろ検討したが無理があり白紙にかえている。

個人消息を見るかぎりでは、県外への出品は坂野美恵子が「第1回京都ビエンナーレ2002」東京展に選抜出品、「第88回二科展」に会員出品をしている。坂本三千一が東京グラフィックデザイナークラブの「TGC創立50記念展」100人のクリエイターによる「100個の地球展・地球の瞳」に出品し作品が収蔵された。

国民文化祭が平成19年秋に本県で開催されるので、デザイン部会としてもどんな参加ができるか検討をしたいとおもっている。

なお、県内では永年活動してきた「レタリングクラブ」が都合により解散している。

◎平成15年度徳島県秀作巡回美術展（10月23日～11月25日）

日和佐コミュニティーホール、羽ノ浦総合国民体育館、由岐町ぼっぼマリン、牟岐町海の総合文化センターで開催され、浅野昌哉、斎藤志津子、坂本三千一、田中一郎が出品した。

◎第3回徳島県文化協会フェア：県美術家協会選抜展（1月24日～26日 県郷土文化会館）

浅野昌哉、沢口 功、田中一郎、桑原美枝、坂本三千一が出品した。

◎第7回徳島県民文化祭協賛事業：県美術家協会デザイン部会展

（11月1日～9日 ホテルクレメント徳島 4Fクレメント広場）

県民文化祭の協賛事業に初めて参加し、今回はエコロジー「ECO」をテーマにした。出品者数は14名で作品数は28点であった。内訳はテーマ：エコロジー作品17点（14名）、自薦作品11点（11名）であった。徳島新聞社、四国放送、美術家協会の後援をいただき、徳島新聞文化部の取材、四国放送テレビニュース、四国放送「おはようたくしま」等で周知され約900の方に見ていただくことができた。

◎こども県展

デザイン部会から提案した「中学生県展」が「こども県展」として第60回記念県展に併せて開催されることが、理事会等で討議され実施にむけすすめられていることは喜ば

しいことである。

◎第12回放美展

本展出品数は約80点前後（100点以内）で県展が110点前後となって安定してきているかに思える。今回は会員の入選者がなかったことは残念だった。今年で2人目となる北島豊嗣が無鑑査出品5回をおえ審査員の一人となった。会員から無鑑査が出ることを願っている。審査員出品は坂本三千一、坂野美恵子、北島豊嗣であった。

◎第58回徳島県美術展

審査員にJAGDA理事で待望のグラフィックデザイナー・アートディレクターの中村誠氏にお願いすることになった。先生は1926年盛岡市に生まれ、東京美術学校デザイン科を卒業、'49年資生堂入社、'79年役員待遇宣伝部長、'87年資生堂顧問、現在は退職しているが、いろいろな役職をいただき多忙な毎日であったとのことである。1953年から抜粋、日宣美特選、朝日、毎日広告賞、東京ADC金銀銅特別賞など、海外では1976年カンヌ国際広告映画祭CMコンクール審査員特別賞、第7回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ展で金賞受賞、2001年JAGDAポスターJAPAN展大賞など、あらゆる賞を総なめの感があります。著書には「中村誠の仕事」「江戸小紋と北斎」「モナリザ百微笑」などがあり、作品はルーブル美術館、ニューヨーク近代美術館などに収蔵されている。1993年紫綬褒章をうけられた。

審査には、経歴にみられない、やさしくて、おだやかで、さわやかであり、公開審査にこられた方々は親切で分かりやすく思ったことと思う。会員の出品者は、準特選に北島豊嗣、入選に敷島のり子、斎藤志津子（2点）、四十宮隆志であった。

会員消息

（放美展・県展関係は除く。順不同）

■岩佐 雅功

11月 部会展「エコロジー」（ホテルクレメント徳島4Fクレメント広場）に2点
出品

■浅野 昌哉

1月 徳島県文化協フェアポスター等制作

■吉本 實

8月 阿波踊りポスター展（両国橋おどり広場ステージ）、阿波踊りポスター展（阿波踊り会館）《社）日本グラフィックデザイナー協会主催》にポスター【B0】出品、周知ポスター【B0・B1】制作

10月 第15回徳島デザインドリーム展（徳島市立木工会館）にポスター【B1】を

出品

- 11月 部会展「エコロジー」(ホテルクレメント徳島 4Fクレメント広場)にポスター【B1】2点出品

■四十宮隆志

- 3月 第2回東京国際アニメフェスティバル(東京ビックサイト)、第3回イントゥアニメーション(東京杉並区)で作家交流&webサイトリポート取材
- 10月 第15回徳島県デザインドリーム展(徳島市立木工会館)にグラフィックデザイン作品3点出品、宣伝ポスター&DM制作&運営参加
世界グラフィックデザイン会議・名古屋に参加(300人VISUALOGUE《展示映像》制作参加)
- 11月 部会展「エコロジー」(ホテルクレメント徳島 4Fクレメント広場)にグラフィックデザイン作品2点出品
第8回アニメーション神戸《The 8th ANIMATION KOBE》(神戸商工会議所&ポートピアホテル)で作家交流&webサイトリポート取材
- 12月 ACC CMフェスティバル特別フォーラム参加(東京・有楽町)

■福井 章

- ・徳島新聞 '04新年号紙面企画(絵と小文)
「なごみの国 阿波」シリーズ43点制作
 - ・徳島新聞 朝刊暦企画(絵と小文)
「阿波路 イラスト ぶらり旅」毎月1回連載中
 - ・情報紙「いのち輝く」(イラスト)
「徳島が誇る伝統の技」連載中
 - ・徳島新聞販売店用絵はがき(イラスト)
「花」シリーズ6点制作
 - ・モラエス翁生誕150周年記念事業絵はがき(イラスト)
「絵入りはがき 5枚セット」うち2点制作
- 11月 部会展「エコロジー」(ホテルクレメント徳島 4Fクレメント広場)に出品

■沢口 功

- 4月 第31回徳島市芸術祭美術展審査員出品(県郷土文化会館)
- 11月 部会展「エコロジー」(ホテルクレメント徳島 4Fクレメント広場)に出品
- 12月 第32回歳末チャリティー作品・色紙即売展(徳島そごう)《徳島新聞社会文

化事業団主催) に出品

■ 斎藤 繁次

- 2月 個展を開催 (ドクターエンドー徳島)
- 10月 第15回デザインドリーム展 (徳島市立木工会館) に出品
- 11月 部会展「エコロジー」(ホテルクレメント徳島 4Fクレメント広場) に出品

■ 斎藤志津子

- 8月 個展を開催 (ドクターエンドー鳴門)
- 11月 部会展「エコロジー」(ホテルクレメント徳島 4Fクレメント広場) に出品

■ 坂野美恵子

- 8月 第1回京都デザインビエンナーレ2002東京展に選抜出品
- 9月 第88回二科展に会員出品 (東京都美術館)
- 11月 部会展「エコロジー」(ホテルクレメント徳島 4Fクレメント広場) に2点出品

■ 坂本三千一

- 3月 徳島県立近代美術館納入業者デザイン作品選考審査会委員
- 6月 文化庁芸術文化会議に出席 (松山市)
- 7月 徳島新聞文化欄に「出会いの風景」田中一光さんを執筆
- 10月 「TGC創立50記念展」100人のクリエイターによる「100個の地球展・地球の瞳」に出品 (東京サッポロ銀座ビル 8Fロイヤルサロン) 作品は収蔵される (東京グラフィックデザイナーズクラブ主催)
- 11月 部会展「エコロジー」(ホテルクレメント徳島 4Fクレメント広場) に作品2点出品
 - ・ 藍住町文化協会準備会・設立会委員 (藍住町教育委員会)
 - ・ 麻植郡合併協議会「市章」選考審査会委員
 - ・ 年輪ピック総務企画委員として総合開会式出席 (鳴門総合運動公園)
 - ・ 第58回徳島県美術展ポスター制作

第58回徳島県美術展（県展）公募規定

| 区分 | 部門 | 日本画 | 洋画 | 写真 | 彫刻 | 美術工芸 | 書道 | デザイン |
|--------------|----|---|---|--|---|--|--|--|
| 搬入日 | | 10月5日 | 10月4日 | 10月12日 | 10月5日 | 10月5日 | 10月11日 | 10月5日 |
| 搬入先 | | 徳島県郷土文化会館 | | | | | | |
| 審査日 | | 10月5日 | 10月5日 | 10月12日 | 10月5日 | 10月5日 | 10月12日 | 10月5日 |
| 審査員 | | 大矢 紀 | 福島 瑞穂 | 江成 常夫 | 菅原 二郎 | 島田 文雄 | 吉清 川 薫 仙石 作 水 田 透 嗣 | 中村 誠 |
| 出品料 | | 協会員 1点目 3,000円 | | その他の方 4,000円 | | 2点目からはすべて 1,500円 | | |
| 出品制限・大きさ・仕上げ | | <ul style="list-style-type: none"> ・未公開作品に限る ・点数は制限なし ・小・中学校在学者は出品できない ・72.7cm×50.0cm(額縁を除いて)以上でタテ, ヨコ190cm(額縁を含む)以内 (ガラス・アクリル不可) ・吊り紐 | <ul style="list-style-type: none"> 同左 ・20号以上(水彩は20号以上, 版画は10号以上とする) ・額 ・吊り紐 | <ul style="list-style-type: none"> 同左 ・組・単写真とも画面サイズ, 半切以上(カラーは印画に限る) ・無鑑査以上は画面サイズ半切以上, 単写真に限る ・パネル張り(組写真は1パネル(90×180cm以内)に全作品をレイアウトしたもの又は全作品を固定したもの) | <ul style="list-style-type: none"> 同左 ・高さ2m×幅1.5m×奥行1.5m重量200kg以内 ・材料は自由, 展示可能なものに限る | <ul style="list-style-type: none"> 同左 ・大きさ制限なし(ただし, 平面作品はタテ1.8×ヨコ1.5m以内) ・木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等 ・展示できる用具をつける | <ul style="list-style-type: none"> 同左 半切又は全紙横$\frac{1}{2}$以上, 仕上がり面積が1.47㎡(16平方尺)以内, 縦・横自由 卷子本・帖(40×300cm以内)(例) 61cm(2尺)×242cm(8尺)枠張 79cm(2.6尺)×181cm(6尺)枠張 91cm(3尺)×161cm(5.3尺)枠張 121cm(4尺)×121cm(4尺)枠張 半切・全紙$\frac{1}{2}$・聯落まで額装 アクリル入りでもよい 無鑑査以上は半切以内 ・部門は漢字・仮名・近代詩文・前衛とする | <ul style="list-style-type: none"> 同左 ・B1パネル横728×縦1,030ミリ 厚さ5~75ミリ程度 重さ5kg以内 ・課題は自由(実在の商品名・会社名等は除く) ・法的規制に触れないこと ・吊り紐 |
| 入賞 | | 特別賞 1点 特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点 入選 規定数 | 特別賞 1点 特選 3点 準特選 5点 奨励賞 5点 入選 規定数 | 特別賞 1点 特選 4点 準特選 8点 奨励賞 8点 入選 規定数 | 特別賞 1点 特選 1点 準特選 2点 奨励賞 2点 入選 規定数 | 特別賞 1点 特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点 入選 規定数 | 特別賞 1点 特選 8点 準特選 13点 奨励賞 13点 入選 規定数 | 特別賞 1点 特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点 入選 規定数 |
| | | (各部門とも特別賞は特選の内数) | | | | | | |
| その他 | | <ul style="list-style-type: none"> ・落選作品は審査終了後, 各部門で決められた日時までに搬出すること。 ・展示作品は一期は11月16日(日), 二期は11月25日(火)の午後5時から午後6時までに搬出すること。 ・所定の期日までに搬出しない場合は主催者において処分する。 | | | | | | |

第 58 回 県 美 術 展

特別・招待・無鑑査・賛助出品者名

☆ 日 本 画

| | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| (特別出品) | 長 尾 弘 子 | | |
| (招 待) | 橋 本 正 弘 | 中 川 健 | 岡 英 彦 |
| | 土 方 るみ子 | 西 野 和 男 | 土 井 洋 子 |
| (無 鑑 査) | 中 西 芳 雄 | 反 田 卓 | |
| (賛助出品) | 長 谷 寿 | | |

☆ 洋 画

| | | | |
|--------|---------|---------|-----------|
| (特別出品) | 佐 野 比呂志 | 永 山 隆 二 | 榊 田 務 幸 |
| (招 待) | 清 水 亟 愼 | 楠 瀬 等 | 露 口 敏 |
| | 岡 本 征 二 | 長 尾 弘 久 | |
| (賛助出品) | 岡 多美子 | 柏 木 雅 雄 | 河 田 安 市 寛 |
| | 黒 崎 志 郎 | 後藤田 仁 一 | 松 川 寛 |
| | 岡 田 守 | 中 辻 奈美枝 | |

☆ 写 真

| | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| (招 待) | 増 田 清 次 | 井 上 光 雄 | 木 田 英 之 |
| | 西 條 征 二 | 勝 西 雅 夫 | 藤 井 梵 |
| | 武 内 亨 | 笹 田 敏 雄 | 櫛 渕 魏 |
| | 酒 井 博 司 | 三 好 和 義 | 上 野 照 文 |
| | 森 賢 一 | 橋 本 圭 祐 | 安 長 剛 |
| | 前 浦 芳 久 | 荒 井 賢 治 | 林 敏 彦 |
| | 多 田 晴 美 | 古 井 謙 吉 | 中 野 建 吉 |
| | 井 藤 光 章 | 増 田 壽 | 柳 本 正 |
| (無 鑑 査) | 船 越 正 文 | | |

☆ 彫 刻

| | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| (特別出品) | 河 崎 良 行 | | |
| (招 待) | 佐 藤 隆 勉 | 井 下 俊 作 | 鎌 田 邦 宏 |
| | 松 永 勉 | | |
| (賛助出品) | 長 岡 強 | | |

☆ 美術工芸

| | | | | |
|--------|---------|---------|---------|--|
| (特別出品) | 山 上 馨 | | | |
| (招待) | 新 居 猛 | 高 橋 勇 | 七 条 猪三郎 | |
| | 多智花 佐代子 | 松 下 雄 介 | 松 下 慶 一 | |
| | 森 賢 一 | 橘 恵 | 犬 伏 絢 | |
| (無鑑査) | 吉 田 敏 明 | | | |
| (賛助出品) | 村 上 正 典 | 中 川 存 | | |

☆ 書 道

| | | | |
|--------|---------|-------------|-------------|
| (特別出品) | 荒 井 天 鶴 | 新 居 藍 州 | 上 田 溪 水 |
| (招待) | 宮 井 青 雨 | 長 原 原 聖 | 高 原 清 泉 |
| | 西 南 龍 | 成 尾 尾 莊 秀 | 原 田 田 霄 月 |
| | 芝 原 醒 鶴 | 前 川 古 舟 | 清 水 桂 月 |
| | 美 馬 幾美賀 | 春 藤 大 耿 | 中 谷 史 子 |
| | 長 谷 美 峰 | 勝 瀬 景 流 | 川 上 虹 泉 |
| | 三 間 好 鶯 | 近 藤 静 苑 | 日 下 溪 翠 |
| | 岡 島 順 子 | 荒 藤 井 彭 仙 | 竹 田 和 代 |
| | 山 口 華 城 | 藤 若 藤 美 風 | 武 市 久 鳴 雲 |
| | 中 尾 勝 子 | 佐 藤 田 小 真 園 | 富 坂 本 本 泉 風 |
| | 永 松 春 苑 | 島 田 田 英 二 香 | 坂 松 本 本 清 香 |
| | 浜 佳 香 芳 | 多 田 清 華 瑤 | 能 仁 華 美 代 |
| | 三 浦 富美代 | 宇 山 泰 鳳 | 東 南 光 |

☆ デザイン

| | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| (特別出品) | 坂 本 三千一 | | |
| (招待) | 浅 野 昌 哉 | 斎 藤 繁 次 | 坂 野 美恵子 |
| (賛助出品) | 福 井 章 | | |

あ と が き

徳島県美術展（県展）も58回展を開催いたしました。一人でも多くの県民の方々に鑑賞していただこうと、運営委員会などで議論をいただいておりますが、なかなか名案はでてこないようです。いずれにしても、県民の方が多く出品し、鑑賞することが県民文化の向上につながるのではないかと考えます。57回から書道部門に篆刻の門戸を開きましたが出品状況はまだまだのような感がありますので、関係者のお力添えをいただきたいと存じます。

放美展も12回展を開催いたしました。やや固定した感があります。できるだけ新しい人を発掘していこうという趣旨もありますので、臆することなく多くの方が出品いただけたらと思っています。

年報には、各部会長から各部の動向についてお寄せいただきました。各部会長のところには会員の方から掲載したい事項がありましたらお寄せいただくようお願いいたしますので、遠慮なく各部会長とご相談ください。

年報表紙は各部もちまわりとなっていますので、今回は美術工芸部の多智花佐代子さんに作成していただきました。

かえりみますと、一年というのは早いものですが、会員の皆様にはご健康に留意されまして、ますます創作活動に励まれますよう祈念いたします。

今後も美術家協会の発展のために会員の皆様のお力添えをお願いいたします。

平成16年 3月

県美術家協会事務局

美 術 年 報 2004年

平成16年 3月29日 印刷

平成16年 3月31日 発行

編集者 清水 博
装幀者 多智花 佐代子
発行人 佐野 比呂志
印刷所 原田印刷出版株式会社
発行所 徳島県美術家協会
(徳島市名東町1丁目246 清水方)

